担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1 事業概要「PIAN(計画)」

_I. 事業概要 □ PLAN	(計画)」									
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	めきがうまれるまちづくり-	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施設	策 ① 保健	È							
	施策の展開	開方向 ① 医療	機関との連携強化							
	タイト	・ル 健康づく	りを促進するまち							
目指す姿		建康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができる まちを目指します。								
想定される取組	【医療機関と	療機関との連携強化】								
∆100/mm	検診当日の滞	詩在時間の短縮、少 <i>)</i> 画及び上牧町第2次健	所対策(3密を回避した健診及び事 人数での案内時間の設定、人数の制 康増進計画・食育計画を推進します	艮等)を医師会等関係機関と済	連携を図りながら	、乳幼児健診、各種				
	指標①		乳児健診受診率		目標(値)	100%				
独自の指標	指標②		幼児健診受診率		目標(値)	98. 0%				
	指標③				目標(値)					
総合戦略の取組	20. 乳児・幼児優	・幼児健診受診の促進								

2. 実施結果「DO(実施)」

2.	美施結果	:「D0(実施)」							(単位:千円)		
陌	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	*		
均	口/干皮	R03時点	H29(決算)	H30(決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1/H	5		
	2か日 1	0.4\	414	669	534	602	602				
	3か月・1	0か月児健診	414	669	534	509	403				
	1歳8か月	旧種珍	474	469	357	506	506				
	「政人のソンプ	プログログ	474	469	378	464	474				
事業	3歳児健診	>	335	398	340	355	355				
費	3所以 元 ()生部		335	398	292	457	601				
	2歳児歯科	1ka=∞	171	178	199	237	237	-			
	乙成りし困れ	七八大百夕	171	178	187	155	167				
	合	(R02時点) 計	1, 394	1, 714	1, 430	1,700	1,700	5年間累計	7,938		
		(R03時点)	1, 394	1, 714	1, 391	1,585	1,645	5年間累計	7,729		
		実施状況			1	計画通りに実施し	た				
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)									

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況							
ADKE 6	ー 指標の説明	M. / I.	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年) R03		R08 (2026年)
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	宝塘庙	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			【基準値】 実績値 - 		実績値		

	評価	□ A.目	標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標の	成果が得られた	□ C.目標とす	る成果は得られなかった
■ ままと前 の利達成度 ■ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	独自の指標①		乳児健診会	受診率		実績(値)	95.5%
	独自の指標②		幼児健診察	受診率		実績(値)	89. 7%
	独自の指標③					実績(値)	
	●事業の分析(詞						
達成度	ましたが、情報すよる健康講座の限となりましたが、 歳児歯科検診:5 健(検)診当日の短縮、少人数で 科検診でのフッタ	共有や説明 開催(1回) 医の、3は での、3い内 での案内 を を を を を で の で の で の で の で の で の で の で	拡大予防のため、上牧町歯科保修を実施し、医療機関等との連携を実施することができました。 を実施することができました。 歯科医師会との相談・協力により 健診・6回)を実施することがで、 医師会との連携を図りながら 間を設定し一方向の流れを徹底し 止しました。 の実施にあたり、医師会と連携し	を図ることができ 令和2年3月・4月 り、当初予定通 けきました。 肖毒換気の徹底、 しました。また、	きました。ペガサスフ 月の乳幼児健診が新型 りの回数(3・10か月 <u>]</u> 事前問診及び計測の 歯科医師会と協議し	7ェスタは中止と 2コロナウイルス 児健診:11回、1 0実施による健(7、飛沫による感	なりましたが、町医に 感染症対策のため延期 歳8か月児健診:5回、2 検)診当日の滞在時間 染リスクが高い2歳児歯
	●事業の分析(ラ	データ:表	・グラフ等)※根拠を示すものか	や内容を補足する	るものがあれば貼り付	けけてください。	
			【健診受診率】		(単,	位:%)	
				H30		R02	
			3か月児健康診査	98.4	96.5	94.6	
			10か月児健康診査	94.3	97. 2	97.6	
		,	1歳8か月児健康診査	92.2	95. 9	91.7	
			3歳児健康診査	88.8	94. 3	88.2	
			2歳児歯科検診	78.0	77.5	77.7	
	評価	■ A. 増	加する傾向にある	□ B. 現状と変わ	らない	□ C. 減少する	
	評価の根拠及び理						
二一ズの方向性	向けて、町内医療 だけでなく、妊婚 遅らせないよう観 町民全体の健履 種検診等で町医的	療機関との 振期から継 動奨する必 東意識を高 派会、歯科	症対策を講じながら乳幼児健診、 連携を密に実施していく必要がる 続して育児の悩みや不安を訴えら 要があります。 め、予防に取り組むことができる 医師会、その他関係機関との協力 ン接種の実施に向けても医師会と	あります。乳幼! うれる場として(るまちづくりを! 力連携が必要不同	見健康診査は成長発達 のニーズがあります。 推進するために、町医 可欠です。	等について異常 感染者の動向を による健康講座	の早期発見の場となる 注視しながら、受診を の開催や予防接種、各
	評価	■ A. 見	直す余地がありすぐに実施	□ B. 見直す余地	があるが時間が必要	□ C. 見直す弁	地がほとんどない
	評価の根拠及び理	-				/// // /	
事業の見直し余地 (改善点)	新型コロナウイル 乳幼児健診、名 くために、連携会 感染者の動向を 問診及び計測の写 ら取り組みます。	レス感染症 各種検診等 会議や連絡 を注視しな 実施による	症の影響により、受診率が低下し対策方法を検討し、受診勧奨を行の実施や、上牧町第2次健康増進・相談等を随時実施していく必ずがら新型コロナウイルス感染症原検診当日の滞在時間の短縮、少少のスムーズな実施に向けて、適宜のスムーズな実施に向けて、適宜	テう必要があり。 計画・食育推進 要があります。 惑染拡大予防対抗 人数での案内時	ます。 計画の目標達成に向I 策(3密を回避した健調 間の設定等)を引き続	けて、町内医療材 診の実施として、 続き医師会等関係	機関との連携を行ってい 消毒換気の徹底、事前 機関と連携を図りなが

4. 今後の方向性「ACTION(改<u>善)」</u>

	施策展開	□ 現状の	まま継	続 ■ 見直しして継続		一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	る検診当日(ナ禍におい [*]	ナウィ の滞在 ても安	ー ルス感染拡大予防対策(3密 E時間の短縮、少人数での案 で心・安全に乳幼児健診を受	を回避 内時間 診でき	した健診の の設定等) るよう対策	に改善内容を記載してください。 実施として、消毒換気の徹底 を医師会等関係機関と連携。 を講じ、受診勧奨を行います 師会との連携を図り、実施の	。 底、事前問診 を図りながら す。	取り組みます	す。コロ
· 男 (改善)	和3年度 E施予定 B容を踏まえて - ください。)	実施によるは、	検建民連口る2次は当、にしては	経日の滞在時間の短縮、少人各種検診等の実施及び上牧けの講演会を開催します。 、住民が安心して新型コロケイルス感染拡大予防対策を	数 すっこう サブラン サブラン サブラン サブラン サブラン かっこう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	案内時間の 欠健康増進記 チン接種を ワクチン接 れるための	び事業の実施として、消毒設定、人数の制限等)を医師計画を推進します。また、医受けられる体制を作ります。 種の実施(会場設営・人員配日程・人数の調整 年度が中間評価の年であるが	研会等関係機 師会・歯科[配置)	関と連携を図 医師会との会	図りなが 議や町医
			独自			乳児健診受	診率		1009	Ж
	指標 (予定)	独自			幼児健診受	診率		98. 0)%	
			- 1							

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1 事業概要「PLAN(計画)」

_I. 事業概要 I PLAN									
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―	_						
総合計画上の 位置づけ	基本施策	① 保健							
	施策の展開方向	② 健康上牧21計画の推進							
	タイトル	健康づくりを促進するまち							
目指す姿	建康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができる まちを目指します。								
想定される取組	【健康上牧21計画の	康上牧21計画の推進】							
令和2年度 実施予定	育計画の推進を図	目標である「夢とコミュニケーションいっぱいの上牧町」を目指して、健康上st Jます。新型コロナウイルスの感染状況を観察しながら、年度後半に延期できた 1業の見直しを行い、実施していきます。							
	指標①	高齢グループの事業の参加者人数	目標(値)	400人					
独自の指標	標 指標2 成人グループの事業の参加者人数 目標(値) 60								
	指標③	標③ 子どもグループの事業の参加者人数 目標							
総合戦略の取組									

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

<u></u>		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							(単位・十円)
酒	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	*
坦	日/平反	R03時点	H29 (決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	1/用	5
	古絵ガル	ープ補助金	105	100	100	100	100		
	同断ノル	一ク無助立	105	100	100	29	80		
	武人ガル	ープ補助金	43	14	45	80	80		
	成人ソル	一ノ無助立	43	14	45	52	80		
事	フレナガ	11	70	70	70	80	80	0	
費	第2次健康増進計画・食育推進計		70	70	70	82	80		
			0	0	0	0	0		
	画中間評	価支援業務委託料	0	0	0	0	4, 000		
	合	(R02時点)	218	184	215	260	260	5年間累計	1, 137
		(R03時点)	218	184	215	163	4, 240	5年間累計	5,020
		実施状況			②計画	通りに実施できな	かった		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	新型コロナウィングを中止したた	「ルス感染拡大防 ため、活動内容が	止のため、高齢ク 縮小されました。	`ループは、3事業	のうち2事業を中.	止し、成人グルー	-プはウォーキ

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KP1のAA元							
ADVE 6	指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	(算定根拠・方法) 単位	(算定根拠・方法)	1 (算定根拠・方法) 単位 (2015年) 目標値 【基準値】 実績値 1 (2015年)	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			12112	大傾但	実績値		

3. 事業の分析 ICHE	.CK(評価)」												
	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	る成果は得られなかった								
	独自の指標①	高齢グループの事業の	の参加者人数	実績(値)	21人								
	独自の指標②	成人グループの事業の	の参加者人数	実績(値)	29人								
	独自の指標③	子どもグループの事業	美の参加者人数	実績(値)	38人								
	事業の分析(記)	●事業の分析(評価の根拠・理由) 高齢グループの2事業が中止となったため、参加者人数は21人と、前年度より減少し、目標を大幅に下回る結果となりました。成人グ											
達成度	高齢グループのループを ループも、連動を中 動ができました。 あり、住民への原 3グループ携を図 、高齢がループ・ 食育推進計画の 発、スーパーに対	の2事業が中止となったため、参加者人数は2°ーキングが中止になったことで、参加者人数中止していたが、家でできる運動を再開しよ、子どもグループ事業は予定通り2回開催し、周知は拡がっていると考えられます。 の横のつながりを強めるための親睦会や、ペカの数ととができませんでした。 ・成人グループにおいては、事業が中止にないが進については、減塩・野菜摂取・バランとができませんできない。	は29人と減少しました。しかし、サルミうと思ったなどの意見が聞かれ、参加 、コロナ禍で人数制限を設けてはいま がサスフェスタでの3グループ合同でないたため、補助金の返還を行いました。 はなについて広報や給食だよりに掲載 、善傾向にあります。	ルコペニアについか者への健康意識にしたが、38人と気あいさつ運動が中た。 載、各種教室や調	へての講演会では、コ の向上に貢献する活 定員に近い申し込みが 中上になったため、3グ								
		減塩に気を付ける人の割合	60% 50% 40% 30% 20% 10% H29年度(策定時) H30年度 青年期	H31/R元年度 R2年	下度 R3年度								
	評価	■ A. 増加する傾向にある	B.現状と変わらない	□ C.減少する傾	 類向にある								
ニーズの方向性		ーー ある「夢とコミュニケーションいっぱいの上! こは、3グループの連携を強め、推進員と協働											
	評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施	□ B.見直す余地があるが時間が必要	C. 見直す余地	 bがほとんどない								
	 評価の根拠及び理	里由											
事業の見直し余地 (改善点)		イルス感染拡大防止策を講じた上で、可能な 実行委員の新規募集を行います。また、新体(

		施策展開	□現状の	まま継続	売 ■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
	今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	を行い、住	を まも新型 民が健	ー リコロナウイルス感染拡大N	5止対策を講じた」	に改善内容を記載してください 上での実施が求められます。 組むことのできる事業を計	各事業の定		
	令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)		の大目標で 中間評価年 3グループ	ある「 である。 プの活動	夢とコミュニケーションい ため、住民アンケートを実	っぱいの上牧町」 施し、令和8年度a	員総会は書面決議で実施す を目指して、令和3年度は、 までの後期計画の見直しを身 り感染状況を観察しながら、	第2次健康増 ₹施します。	進計画・食育	計画の
				独自	高	齢グループの事業	の参加者人数		80人	
			指標	指標 独自 成人グループの事業の参加者人数					50人	
		(予定)	独自	子。	どもグループの事績	業の参加者人数		40人		
				_						

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

+ + + PLAN										
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―	_							
総合計画上の 位置づけ	基本施策	① 保健	① 保健							
	施策の展開ス	方向 ③ マンパワーの確保と人材発掘・育成	③ マンパワーの確保と人材発掘・育成							
	タイトル	健康づくりを促進するまち	健康づくりを促進するまち							
目指す姿	健康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができる まちを目指します。									
想定される取組	【人材の発掘・確保・育成】									
令和2年度 実施予定	健康上牧21計画のボランティアグループ及び食生活改善推進員・がん予防推進員(フォローアップ講座及び啓発活動)の活動を推進 します。									
	指標①	子どもグループ実行委員の活動人数(延べ)	目標(値)	80人						
独自の指標	指標②	成人グループ実行委員の活動人数(延べ)	目標(値)	100人						
	指標③	高齢グループ実行委員の活動人数(延べ)	目標(値)	70人						
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

۷.									
TE	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ /	¥
坦	日/ 平反 	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	備考	
	賃金		4, 141	5, 234	2, 629	0	0		
	兵业		4, 141	5, 234	2, 629	0	0		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	4, 141	5, 234	2, 629	0	0	5年間累計	12,004
		(R03時点)	4, 141	5, 234	2, 629	0	0	5年間累計	12,004
		実施状況				通りに実施できな			
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため健康上牧21計画の高齢・成人ボランティアグループに係る一部事業を中 しました。そのため活動数が縮小されています。 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)						部事業を中止		

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

WE TO JAN JU							
-10KE 6	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年) 【最終目標値】
成果指標名			(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	
				大順區	実績値		
			<u> </u>				

フンパロ	一の確保と	人科教坛	. 杏出

	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	成果は得られなかった					
	独自の指標①	子どもグループ実行委員	員の活動人数(延べ)	実績(値)	10人					
	独自の指標②	成人グループ実行委員	員の活動人数(延べ)	実績(値)	64人					
	独自の指標③	高齢グループ実行委員	はの活動人数(延べ)	実績(値)	68人					
	●事業の分析(評価の根拠・理由)									
	ましたが、感染対 21計画推進事業打	イルス感染症の影響で高齢グループの2事 対策についての話し合い等も実施できまし 誰進委員親睦会については中止となりまし	った。ペガサスフェスタ、3グループ実行 った。	委員の親睦交流を	を目的とした健康上牧					
	動回数は合計18回	進員は定例会10回(210人)、男性料理2回 団、延べ人数は202人でした。 最の活動は、発型コロナウイルス関連拡大								
達成度		がん予防推進員の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛をしましたが、フォローアップ研修を開催し、18人が参加されました。がん経験者からの話を、あらかじめ撮影した映像放映という形で実施し、体験談等からがん検診の大切さを学ぶことができました。								
	 ●事業の分析(ラ			ナてください。						
	令和2年度各グル 子どもグループ	ープの実行委員の人数 プ 12 Å								
	成人グループ 高齢グループ	17人								
		防推進員登録者数 32人								
	評価	■ A.増加する傾向にある	□ B.現状と変わらない	C.減少する個	頼向にある					
	評価の根拠及び理	里由								
ニーズの方向性	なるボランティブ	(ルス感染症の影響による自粛生活等で、 Pの活動を進めることで、健康の意識を高 る町が求められています。								
	評価	□ A. 見直す余地がありすぐに実施	■ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地	しがほとんどない					
	評価の根拠及び理	<u> </u>								
事業の見直し余地 (改善点)	新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で、開催を予定しましたが、急遽中止になった事業もありました。引き続き感染対策 を講じた活動、取組を検討します。									

	施策展開	■ 現状の	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性 ひ善内容 (改善内容 (改善点に対する 改善方法等) □ 特になし ■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) □ 健康上牧21計画のボランティアグループ及び食生活改善推進員の取組についても、令和3年度も継続します。 ○ は書点に対する 改善方法等)									
			21計画の			-アップ講習及び啓発活動) け。各グループ、感染対策を			上画、
			独自	子どもク	ブループ実行委員の	活動人数(延べ)		70人	
		指標	独自	成人グ	ループ実行委員の流	舌動人数(延べ)		70人	
			独自	高齢グ	ループ実行委員の流	舌動人数(延べ)	·	70人	
			-						
			-						

担当	課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	42ページ
担当	係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	めきがうまれるまちづくり-	_				
総合計画上の 位置づけ	基本施舒	① 保健	① 保健						
	施策の展開	方向 ④ 保健	④ 保健事業の充実						
	タイトノ	し 健康づくり	健康づくりを促進するまち						
目指す姿	健康に対する意識を高めるとともに町民一人ひとりが実践でき、健康寿命の延伸を図るために仲間同士で予防に取り組むことができまちを目指します。								
想定される取組			【受診対象者へ個人通知等のアプロ 康づくりの支援の充実】	コーチの推進】【ヘルシー教』	室の充実】【乳幼	り児健診後の支援の充			
令和2年度 実施予定	伸乳・受力・以①な申の子がま集診健後が下検いしている。というで、またのでででは、はきのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、対しいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指し、体のは、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	年金課と合同)として保健事業ののりが目標を持つことにより健康できる特定の年齢に達する方に、はがんた、140~60歳の5歳刻みの方に個別受を同時実施できるようにし、利便性のよりである。 (40~60歳の5歳刻みの方に個別受を同時実施できるようにし、利便性のよりである。 (40~60歳の5歳刻みの方に個別受を同時実施できるようにし、利便性のよりをしていきます。健康でペーアップ講座を実施し、がん予防が大防止対策を講じて、安心・安全に日の受診者の人数制限を実施し、検配置を検討し、会場内の人数を制い一人ひとりの発達や特徴に合わせ、	くりへの関心を高め、生活習代をによる個別受診勧奨を行いまま。 きいの無料クーポン券を発行します。 きを図ります。レディースデートだくために、講演会や生活が、健康的な経 は真の活動として、啓発・促 は関の活動とします。 ③ 受付 はします。 ⑤検診申込時も密します。 ⑤検診申込時も密し	関病予防を推進し 関すすす。 イを設けがん検診 を設けがののでは 活生対理では がののである。 イを設けがののである。 活性ができる。 では、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の	はます。 に41歳に達する方に を外人検診を同時に な室を開催し、教室終り支援を行います。 らいます。 けることで、密になら 可能であれば電話で			
独自の指標	指標①		ほほ笑み教室利用者の満足度		目標(値)	4. 5			
総合戦略の取組	13. ほほ笑み教室	の開催							

2. 実施結果「DO (実施)」

(単位:千円)

T 1	1月/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	*
	Rロ/千皮	R03時点	H29 (決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	VH	כי
	女性のがん検診(乳がん・子宮が		2, 577	4, 001	4, 945	6, 289	6, 289		
	ん)		2, 577	4, 001	4, 945	4, 747	6,063		
	胃がん検	≣ &	917	1, 601	2, 137	2, 463	2, 463		
	月が70代	記	917	1, 601	2, 137	1, 679	2, 404		
事業	大腸がん	₩%	2, 564	1,806	1, 712	2,069	2,069		
費	ノへのかりいり	1大百夕	2, 564	1,806	1, 712	1,627	1, 904		
	肺がん検診		563	495	767	850	850		
	۸۱۰۰۲ دربارر	D2	563	495	767	791	750		
	その他の	検診・教室関係	2, 016	2,334	1, 493	2,583	2,583		
	C 00/1007	快步。教主因际	2, 016	2,334	1, 493	1,830	2,916		
	合	(R02時点) 計	8, 637	10, 237	11,054	14, 254	14, 254	5年間累計	58, 436
		(R03時点)	8, 637	10, 237	11,054	10,674	14, 037	5年間累計	54, 639
	実施状況 令和2年度 実施結果 (①以外を選択した場 合、理由や取組内容に ついて記載)				1	計画通りに実施し	た		

●KPIの状況

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
(算定根拠・方法)	単位	(2015年 <i>)</i> 【基準値】	宇結値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			大順配	実績値		
【25歩い上の甲女】	0/		2.7	2.3(4.3)	2.6	3.6
[33]成以上07为女】	/0	(4.4)	(5.2)	2.2(4.1)	(5.0)	(7.0)
「40歩い Lの田去 】	0/		5. 2	4.0(7.2)	5. 6	6. 7
【40成以上の男女】	%	(9.6)	(9.4)	4.5(8.2)	(10.0)	(12.0)
740歩N Lの田去】	0/		4.5	4.2(6.4)	4. 6	5.3
【40成以上の男女】	%	(5.1)	(6.8)	3.4(5.1)	(7.0)	(8.0)
120告N Lの 人 姓】	0/		9.4	5.8(10.1)	9. 7	10.8
【20成以上の女性】	%	(15.4)	(16.4)	7.7(13.1)	(17.0)	(19.0)
[40±N + 0+++1	0/		13.5	10.1(15.0)	10.8	12. 2
[40才以上の女性]	70	(14.3)	(20.0)	11.4(16.5)	(16.0)	(18.0)
	【35歳以上の男女】 【40歳以上の男女】 【40歳以上の男女】 【20歳以上の女性】 【40才以上の女性】	(算定根拠・方法) 単位 (35歳以上の男女】 % (40歳以上の男女】 % (40歳以上の男女】 % (20歳以上の男女】 % (20歳以上の女性】 %	「指標の説明 (算定根拠・方法) 単位 (2015年) [基準値] [35歳以上の男女] % (4.4) [40歳以上の男女] % (9.6) [40歳以上の男女] % (5.1) [20歳以上の女性] % (15.4) [40才以上の女性] % (14.3)	指標の説明 (算定根拠・方法) 単位 【27 (2015年) [基準値] 実績値 [35歳以上の男女] % (4.4) 2.7 (5.2) [40歳以上の男女] % (9.6) 5.2 (9.4) [40歳以上の男女] % (5.1) 4.5 (6.8) [20歳以上の女性] % (15.4) 9.4 (16.4) [40才以上の女性] % (14.3) 13.5 (20.0)	指標の説明 (算定根拠・方法) 単位 (2015年) [基準値] 実績値 実績値 実績値 (35歳以上の男女] % (4.4) (5.2) (4.4) (9.6) (9.6) (9.6) (5.1) (4.5(8.2) (4.4) (5.1) (20歳以上の男女] % (5.1) (5.1) (20歳以上の女性] % (15.4) (16.4) (16.4) (17.7(13.1) (10.1(15.0) (11.4(16.5)	指標の説明 (算定根拠・方法)

/中	油市	ΨΛ	女生

評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	る成果は得られなかった
独自の指標①	ほほ笑み教室和	川用者の満足度	実績(値)	4. 7
●事業の分析(詞	平価の根拠・理由)			-
ときったは、ウラッカーを発生している。 ときった はいか 最 元 回 に対 ラ 型 を て 康 活 コ ロ し し ジ コ り は 寿 習 コ ロ 方 が 関 化 で 重 が 見 が 最 元 回 し し ジ コ 印 は 寿 習 コ ロ 方 が 教 で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	合同で、けんしんGOポイント事業を実施してとにより健康づくりへの関心を高め、準備しました。 一秋で実施していた集団検診を、新型コにて実施しました。新型コロナウイルス感生を図りました。子宮頚がん・乳がん検診を決しました。子宮頚がん・乳がん検診の場所を表した。各の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	健康的な生活習慣の定着を推進しまし コナウイルス感染症の影響により令和2年 染症対策を講じながら集団健(検)診の 診前には、はがきや電話による個別受診 種教室に赴いて、集団検診の申込みの限 可の現状を周知することができました。 る方が一定数いたと考えられます。また ん検診全て受診率は低下していますが、 を高めていただくために、新型コロナウ 連康づくりの意識を高め健康的な生活習 員新規養成はできませんでしたが、がん こ。 平価とアンケートを実施しました。利用	た。今年度もポイ F度は春の集団健 特定健診とがん材 勧奨を行いました。 引知・勧奨を行い。 、集団検診では密 大腸がん・子宮 イルス感染症対策を 予防推進員のフォ	(検) 診を延期し、秋 意診を同時実施でも と。また、大腸がん検 ました。がん検診の案 別にならないように、 類がん・乳がん検診に 養を講じながら講演会 行いました。 ナローアップ研修には
●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すもの	りや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。	
評価	■ A. 増加する傾向にある	□ B.現状と変わらない	□ C.減少する値	頁向にある
評価の根拠及び理				
施となったことも め集団検診ではう と考えられます。	、受診者数は減少しています。新型コロ5要因の一つと考えられます。また、個5予約枠が定員いっぱいになり、希望日時可引き続き新型コロナウイルス感染症の場合のでは、発達遅滞が疑われる幼児は多いでは、発達遅滞が疑われる幼児は多い	川検診では医療機関への受診を控える方 での受診ができなかった方もおられるこ 犬況を注視し、感染対策を講じながら実	が一定数いたと考 とから、関心や二 施する必要があり	ぎえられます。そのた ニーズは変わらずある リます。
評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施	□ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余均	也がほとんどない
評価の根拠及び理				
施)について検言 受診率向上に向 法、さらに受診者 がん予防推進員	イルス感染拡大予防対策を踏まえた上で、 すする必要があります。 向けて令和2年度の実施状況等を踏まえて 替数の増加につながる実施方法を検討して 員の新規養成講座を実施し、活動を広げて 多にて発達が気になる幼児に早期からの釈 きます。	、感染症対策を徹底し、安心・安全に ていく必要があります。 ていく必要があります。	検診を受けていた:	だけるような実施方

	施策展開	□ 現状のまま	ま継続 ■	見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	て子宮頸がんに しやすいように がん検診のラ 一人ひとりの 教室を案内して	こよる死亡数 こ、検診の利 チラシ配布、 D成長に合わ ていますが、	・チン接種事業の円 が多いという訳 関便性を図ります。 がん予防推進員に せた支援が今後も 中には幼児の個性	滑な実施のため春棹 から、特定健診とし よるがん検診の受診 引き続き必要であり	改善内容を記載してください 診は実施せず、秋と冬枝 ディース検診の同日実施 啓発活動等、受診勧奨を 、発達相談や健診にて発 ていない例があります。 行います。	診として実施を設定し、女 実施していき 達遅滞が疑れ	性の方が検診を受診ます。 おる幼児にほほ笑み
· 男 (改善内	和3年度 尾施予定 内容を踏まえて こください。)	康し 達 密 しの す以 で で で で で で で で で で で で で	からいない できない かいかい かいがい きゅびを 大き いんん 定実 仲もす 員 型計なで インない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かい	はい、町民一人の にはある特定のを がした がした がした がした がした がした がした がした	りが目標を持つことは に達する方に、は に達する方に、は にできる方に、る方 なの5歳刻みの方にし、 できるようにし、 できるようにし、がん子 を講じて、安の心診 をないまった。 を踏き会場の配置を がでもらいます。 が感染防止策を十分に	の健診・検診受診者に により健康がくりへの関いた。により健康がくりないます。 による個別受診動類を行います。 別受診動類を行います。 別使性を図ります。特定は のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	心を高め、生たのでは、ます。をいます。をいます。をいます。をいます。ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	活習慣病予防を推進 令和元年度に41歳に・発行します。 の同時実施及び、骨 病関係の教室を開催的な生活習慣の定着 実施してもらいま 付時間を時を細密になった。 会にはないます。発達相談や健
		КР	I		胃がん検診受	診率		2.6 (5.0) %
		KP	I		大腸がん検診の	登診率		5.6 (10.0) %
		指標、KP	I		肺がん検診受	診率		4.6 (7.0) %
		(予定) KP	I		子宮がん検診の	是診率		9.7 (17.0) %
		KP	I		乳がん検診受	診率		11.5 (16.6) %
		独国	自		ほほ笑み教室利用者	る の満足度		4.8

担当課	住民保険課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	44ページ
担当係	保健事業係	関連部局		生き活き対策課	

1. 事業概要「PLAN(計画)」

1. 事業概要「PLAN	<u>(計画)」</u>									
	政策	策	② 住民社	- 福祉―ともに支える	合い健やかでとる	きめきがうまれるま	ちづくり―			
総合計画上の 位置づけ	基本抗	施策	② 医療							
	施策の展	開方向	① 医療係	保険制度の充実とP	円滑な運営					
	タイ	トル	ル 町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせるまち							
目指す姿				れるようにすると。 るまちを目指しま ^っ		地域において、町貝	民一人ひとり	が健康づくりに	取り組みながら、心	
想定される取組		特定健診の受診勧奨による疾病の早期発見・早期治療の推進を行い受診しやすい環境の整備】【特定保健指導の利用促進】【保険証 ジェネリック医薬品の希望の記載あっせん】								
令和2年度 実施予定	と健康人然後医上さ上診国重実を腹診間令期療牧れ牧し保症をの高費町た町ない化のにいいんでいた。 グギ者析んに民るスが	し後 等度医・レ対健世アに 使期 助よ療保んし、保保の が、要被事!商険対事げ では、では、は、では、 は、では、 は、では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	査医 保た検計イ券 康、(たち)をできた。 保た検計 できる	診の結果に基づき、 被保険者を対象にし、 者を対象に人間ド かの1(20,000円を、 に人間でを原いのででは、 に、特定力でいきで、、 、クオーカ・シートでです。 大力・シートでです。 大力・シートでは、 大力・シートでは、 大力・シートでは、 大力・シートでは、 大力・シートでは、 大力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た保健指導を実施。 定、脂質異常症など 用の上限40,000円と 40,000円に変更 か01(20,000円を引き を推進するたシスレラ を推進ス検診 で付するののは で付するののは で付かるのでは では、 が存むのに が存むのに が存むのに ののに ののに ののに ののに ののに ののに ののに	ごの生活習慣 こし助成 上限)とし助 事間病疾患検 合付や支給を きば5,000円 を話):特定保	病の予防を図る 成 診を受診した者 受けていない性 健診の受診を習 健指導が必要な	習慣病の予防を図るこ ることを目的とした健 者で3ポイント以上付与 世帯で、特定健診を受 関関化し、疾病予防、 な方には相談、指導を 口をする	
	指標①			人間ドッ	ク受診者数			目標(値)	470人	
独自の指標	指標②							目標(値)		
	指標③							目標(値)		
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO(実施)」

(単位:千円)

۷.	, 実施結果「DU(実施)」 (単位: - 											
ॉ百	 目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ #	*			
内	日/ 牛皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1/11/1	5			
	油内油工	化事業・特定健診事業	18, 931	22, 259	42, 308	41,938	40,680					
	1011小10111	[1]末 :付足姓彭尹未	18, 931	22, 259	42, 308	41, 938	39, 845	5年間累計 166,116				
事業費												
費												
	合	(R02時点) 計	18, 931	22, 259	42, 308	41,938	40,680	5年間累計	166, 116			
		(R03時点)	18, 931	22, 259	42, 308	41,938	39, 845	5年間累計	165, 281			
		実施状況			1	計画通りに実施し	た					
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)						曾) I (十) 秦江時子				

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

	KPIの氷沈							
		指標の説明	W /1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
	成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
				K	大棋世	実績値		1901E2
	特定健康診査受診率	国民健康保険に加入している40 歳から74歳までの人のうちメタ	%	27. 2	36. 2	42. 0	29. 0	31.0
	讨定陡 脉的且又的平	ボ対策の健康診断を受けた人の 割合	/0	21.2	30. 2	36.6	29.0	31.0
L								

	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標	票の成果が得られた	□ C.	目標とする	る成果は得られなかった						
	独自の指標①		ー ック受診者数				455人						
	独自の指標②	7 (1-2)	7,70,12		実績								
	独自の指標③				実績	*** *							
	JENEY VIENEY				大顺								
	特定健診・特定保健指導:特健受診率 令和元年度36.2%(県平均33.6%)に対し、令和2年度は36.6%(県平均30.0%)県平均を上回りましたが目標値42%を達成するためには、更なる健診未受診者対策が必要です。特定保健指導受診率 令和元年度3.4%に対し、令和2年度は50%を上回る見込みです。 人間ドック等助成:令和元年度より受診に要した費用のうち40,000円を上限(平成30年度要した費用の2分の1 上限20,000円)に助成額を引き上げた結果、令和元年度414人 令和2年度455人と増加しました。課題としては、健診結果に基づき、治療につなげる必要があ												
達成度	令和元年度は、前傾向で推移してい 上牧町けんしんG 上牧町国民健康係	当たりの医療費、医療受診率は、この 前年度より低く、奈良県・同規模団体 、ますが、基礎疾患である「高血圧症 <u>の!ポイント事業</u> :発行率令和元年度 <u>保険健康優良世帯表彰</u> :令和元年度1+1 業(健診未受診者対策)業務委託:ま	・国より低い状況 「糖尿病」の受 1.3%(474人/41 世帯 令和2年度1	で、生活習慣病の 診状況は奈良県を 84人) 令和2年度 5世帯	状況として、医 超えています。 度7.4%(283人/3	療費は外 3824人)	来・入院ともに減少						
	384人、家庭訪問 ジェネリック医薬	<u>保保健指導事業(健診未受診者対策)業務委託</u> :未受診者へ電話、訪問による受診勧奨を実施しました。(電話対象者577人のうち 4人、家庭訪問1,880人のうち1,372人) <u>エネリック医薬品差額通知</u> :先発医薬品を処方したレセプトで、後発医薬品を利用した時に一定額(1剤当たり200円)以上削減効果 望まれる被保険者に年4回送付。令和2年度966件 国保事務支援センターから送付。											
	●事業の分析(データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
		【特定健康診査受診率及び特定保健指	導実施率】		(単位:%)								
			H30	R01	R02								
		特定健康診査受診率	34.7	36.2	36.6								
		特定保健指導実施率	6.0	3.4	55.0								
	評価	□ A. 増加する傾向にある	■ B. 現状と変	変わらない	□ C.	減少する低	頁向にある						
	評価の根拠及び理	里 由											
ニーズの方向性	は大幅に増える見 け、人間ドック等	か成事業は、令和元年度より2年間限定 記込みでしたが、年度当初から緊急事 等実施人数は目標値より15人少ない455 Nます。令和3年度も助成額上限4万円/	態宣言が発令され i人となりました。	、集団健診中止や 年度末にかけ非常	医療機関が人間 常に多くの方が「]ドックの 申請され、)未実施等の影響をう 、人間ドック等の受診						
	評価	□ A.見直す余地がありすぐに実施	■ B. 見直すá	余地があるが時間が必	凄 □ C.	見直す余地	也がほとんどない						
	 評価の根拠及び理	建由											
事業の見直し余地 (改善点)		∞、特定保健指導実施率の向上を図り、 責の抑制へ繋げるためには、生き活き				から重症	化を防ぎ、医療費の						

	施策展開	■ 現状の	まま継続	売 □ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	実に実施し 診率が増加 症、重症化	未受診 ます。 傾向で 予防を		- 受診者数は年々増え -人当たりの医療費! 事業を推進し、糖尿! けて、高齢者の保健	に改善内容を記載してください ています。健診結果に基づ は減少傾向に推移していま 病性腎症重症化予防事業を と事業と介護予防の一体的な 必要があります。	き、特定保健 すが、生活習 実施すること	慣病の基礎疾 で生活習慣病	患の受 の発
· 男 (改善内	和3年度 E施予定 J容を踏まえて ごください。)	集施ン策託中医知上診保・では、大きのでは、まりでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たきのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たらので	保がを務。定:リ健世財支健の実委住保医ッ康帯政援を対して検施託民健療ク保に運制	フターで実施)②個別健計 診と同時受診を受きるように します。健診を受診者指導が り健診に発力を保健背 指導対象外となっして、 指導対象外となっして、 養養健康優良労をします。 管健康優良労を支 対し、あなり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国の主体となり、 国のと言います。	(奈良県内登録医) にの場合を では、健診を受診を は、健診を受診を が必要な人へ重症化が必要な人へ重症化が必要を をはるでは、 をはいるでは、 には、 には、 には、 におけるを であると考えま	ポイント事業、未受診者対 療機関で実施)③人間ドッ 療機関で実施)③人間ドッ の電話等ので受診動奨を 保健指導を実施(特定保健 予防するために生活改善事業 要な人には、生活改善事業 両値を行い医療給付費の適 員が療養の給付や支給を受 正化の推進や財政健全化な す。今後も保健事業取組の	クにより(上いり) 大学 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	。集団検診は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	町! 診業、 費 診 と 歩 がポ者委内 通 を しまくす 服 受 て
		16-17	KPI		特定健康診査	受診率		42%	
		指標 (予定)	独自		人間ドック受	診者数		470人	
			_						

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	44ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

事業概要「PLAN(計画)」

 事業概要 I PLAN 	(計画 <i>)</i> 」									
	政	策	② 住民社	福祉―ともに支え合	い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり	_			
総合計画上の 位置づけ	基本	施策	② 医療							
	施策の風	展開方向	② 在宅	医療サービスの充実						
	タイ	トル	[民一人ひ	とりが健康でいきし	きと暮らせる	まち				
目指す姿		代に応じ安心して医療が受けられるようにするとともに、家庭や地域において、町民一人ひとりが健康づくりに取り組みながら、心 ∷もに健康でいきいきと暮らせるまちを目指します。								
想定される取組	【地域によ	地域による在宅医療体制の充実】								
令和2年度 実施予定	健所主導の 策定出する を出す を を は る の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	病院から地域へシームレスな在宅移行ができ介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、保健所主導のもと西和地域7町と医療機関、ケアマネジャー等が連携して平成29年度に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を策定しました。令和2年度から入退院調整ルールづくり事業の実施主体が保健所から西和地域7町へ移行することに伴い、退院調整率を抽出するためのアンケート調査内容の改善等を行うとともに、スムーズに入退院できるようお薬手帳、医療機関の診察券やケアマネジャーの名刺等の必要物品を書面にまとめた「あんしんセット」の導入についても検討予定です。 医療・介護関係者の交流サイト「生き活きSNS」の活用促進として上牧町被保険者の方が利用する事業所へ範囲を拡大し、事業所の登録者数を増やします。また、「生き活きSNS」本来の目的である「交流」を増やすため、町から積極的に研修や様々な情報、質問等を踏まえた投稿内容にすることで事業所が投稿しやすいような話題提供を行い、より医療と介護の情報連携がしやすい環境づくりを行います。								
	指標①			SNS上での町	の情報発信数		目	標(値)	120件	
独自の指標	指標②	② SNS上での事業所投稿数 目標(値) 25件								
	指標③						目	標(値)		
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

		R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03		(十四・113)	
項 	目/年度	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	備	考	
	大 空医 体	・介護連携推進事業	1, 934	1, 994	923	962	962			
	江七区尔	* 月設建防推進事業	1, 934	1, 994	923	909	1, 039			
事業費										
費										
								5年間累計 6,775 5年間累計 6,799		
	合	(R02時点) 計	1, 934	1, 994	923			5年間累計	6, 775	
		(R03時点)	1, 934	1, 994	923	909	1,039	5年間累計	6, 799	
		実施状況			1	計画通りに実施し	た			
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)						算)」は検証時点		

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

	NF1074AJL	指標の説明	単位	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
ı	成果指標名	標名 (算定根拠・方法)		(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
						実績値		
ı								
ı								
ı								
ı								
ı								

	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた	■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	成果は得られなかった
	独自の指標①	SNS上での町の	の情報発信数	実績 (値)	87件
	独自の指標②	SNS上での事	業所投稿数	実績 (値)	36件
	独自の指標③			実績(値)	
		平価の根拠・理由) 			
達成度	況下にもかかわら 則った連携が図れた連携体制が活た 令和3年度からの 「生き活きSNS 医療・介護関係者 の情報発信数の目	1か月間を対象に入退院連携実施状況のこうで、ケアマネジャーと西和地域(病院でっていることがわかりました。このことがかされ、医療・介護関係者の連携体制が、導入に向けて西和地域7町の医療機関・・」では医療・介護に関連する情報、新型当が集まり意見交換会を開催することがは1開標は達成できなかったものの、事業所でます。また、利用登録事業所数は前年度でなっています。	の退院調整率が前年度の78.5%から92.から、今までの顔の見える関係づくりやより強化されていると考えられます。ま アマネジャーの意見をもとに予定通り コロナウイルスに関する情報や感染対対 短難なことから、SNS上で今後の活用方別 の投稿数では目標を上回る結果となり、	3%へと大幅に向」 退院調整ルール作 た、「あんしんセ 作成しました。 その工夫点等の共 はに関する意見交打 情報共有の場とし	上しており、ルールに い事業などで培われ ット」についても、 有や、コロナ禍のため 象等を行いました。町 て少しずつ定着して
	●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すもの	のや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。	
	【西和	地域6病院からの退院調整率]			
			92.3%		
		80. 2%		F度の1か月間のア 算出した退院調整	
		H30 R01 (12月) (6月)	R02 (10月)		
	評価	■ A. 増加する傾向にある	□ B.現状と変わらない	□ C.減少する個	節にある
	評価の根拠及び理	 里由			
ニーズの方向性		貫れた地域で自分らしく生活できる環境な 必要となり、今後ますます医療と介護の必		な在宅医療・介護	サービスを提供する
	評価	■ A.見直す余地がありすぐに実施	□ B.見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地	かほとんどない
	評価の根拠及び理	里 由			
事業の見直し余地 (改善点)		」の運用に関して、医療・介護関係者の め、新たな機能の実装を検討する必要がる		療・介護関係者に	とってより価値のあ

	施策展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止 □ 完了	" (時期:)
		□ 特にな	:U		改善点あり(下の枠に改善	内容を記載してください。)	
今後の 方向性	以告内谷 (水美占に対する	るリンクサ	イトの立ち上 困難な状況な	げを検討します。ま	た、コロナ禍のため医療	「生き活きSNS」上で上牧町の記 ・介護関係者が一堂に集まり会 るとともに、SNS上で意見を募る	議や意見交換会を開催
) (改善内	和2年	を目的に、 ジャーへの 域7町で共通 利用者に配 医療・介 SNS上で意見	平成29年度に アンケート調 通して使用する 布し、配布後 護関係者の交 見交換などもん	「西和地域7町にお 査を通して退院調整 る入退院に必要な物。 の活用状況を確認し 流サイト「生き活き すえるよう町から積	ナる人退院連携マニュアルの状況を確認し、連携への状況を確認し、連携へ品を書面にまとめた「あんます。 の状況をでいる。 います。 SNS」を活用して研修や呼吸的に発信していきます。	心して病院への入退院と在宅療 り」を策定しました。令和3年度 の課題の抽出などを検討してい んしんセット」をケアマネジャー 新型コロナウイルス関連の情報 また、医療・介護関係者の連 覧できるリンクサイトの立ち上	も医療機関やケアマネ きます。また、西和地 ーを通して介護サービス 等を共有するとともに、 隽強化の促進や日々の業
			独自		SNS上での町の情報発信	言数	100件
		指標	独自		SNS上での事業所投稿		38件
		(予定)					

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	44ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 事美概要 「PLAN	(計画)」												
	政策	ŧ (2	② 住民福	冨祉―ともに支え合い	建やかでとき	きめきがうまれるまちづく	J—						
総合計画上の 位置づけ	基本施	施策 ②	2) 医療										
	施策の展	開方向	③ 不妊	・不育症治療支援									
	タイト	タイトル 町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせるまち											
目指す姿		症状に応じ安心して医療が受けられるようにするとともに、家庭や地域において、町民一人ひとりが健康づくりに取り組みながら、心 身ともに健康でいきいきと暮らせるまちを目指します。											
想定される取組	【不妊治療助成制度の利用促進】【不育症治療助成制度の利用促進】												
令和2年度	事業の周知に向け、今年度も広報、ホームページ、健診の場等で啓発をします。近隣の産婦人科にチラシやバンフレットの設置協力を依頼するなど周知します。 不妊・不育症治療について助成制度を利用された方、検討されている方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等、事業内容について検討します。 令和元年度のアンケートを令和2年度も継続して実施し、周知状況を確認します。アンケートの回答の選択肢が、(十分知っている、ほぼ知っている、あまり知らない、まったく知らない)と曖昧な聞き方であったため、今年度からは(よく知っている、名前だけ知っている、知らない、その他)に変更します。 転入者や、保健所へ特定不妊治療の申請に来た方への情報提供について検討します。												
独自の指標	指標①	事	業認知度	(よく知っている、名	前だけ知っ	ている人の割合)	目	標(値)	40%				
が中の月日本	指標②						目	標(値)					
総合戦略の取組	19. 不妊・不育? 促進	症治療助成制度	きの利用										

 2. 実施結果「DO (実施)」
 (単位:千円)

<u></u>		: 'VV (大 心/]							(半位・十口)
ॉ百	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	×
炽	日/ 牛皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	VH)	5
	不妊治療	弗叶式	510	623	806	560	1,050		
	小灯归惊	東 切以	510	623	806	905	1, 400		
	不会停込	秦弗 肋式	211	101	57	700	700		
	个月征石	療費助成	211	101	57	169	500		
事業費	需用費					1			
費	而川具					1			
	合	(R02時点) 計	721	724	863	1, 261	1,750	5年間累計	5, 319
		(R03時点)	721	724	863	1,075	1,900	5年間累計	5, 283
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果 実施結果 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)								

※「RO2(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況							
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年)
成果指標名	(算定根拠・方法) 単位		(算定根拠・方法) 単位 (2015年) 【基準値】 実績値 ―	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			12 1 112	大模型	実績値		

3. 事未の力がいいに										
	評価	□ A. 目標。	よりも大き	な成果が得ら	れた	■ B. 概ね目標	の成果が得ら	れた	□ C.目標とする	成果は得られなかった
	独自の指標①	事業	認知度(よく知って	いる、名前	〕だけ知って	いる人の割	合)	実績(値)	53. 6%
	独自の指標②								実績(値)	
	●事業の分析(討	平価の根拠・	理由)							
	人で56.2%でした 出に来られた妊婦 た。 不妊治療費助成 9月広報に折込 ン)へ助成案内の	。ただし、同 見を対象にア 以申請件数は チラシを入れ ロパンフレッ か成を開始し	同じ回答者 ンケート 15件、不 1周知を図 トを配 たから、	が含まれてを実施しまりません。 育治療費助しました。 し周知を図 しのが治療費	いる可能性 した。回答 成申請件数 また、出庭 りました。 助成申請者	Eがあり、II 数50人のう は2件であり E施設である から8人、7	E確な結果が ち知っている J、令和元年 5林産婦人科	でないと考 <i>え</i> ると回答した。 度と比べて樹 五位堂医院と	られたため、改め 人は23人で46%であ	Nると回答した人は82 のて10/1以降は妊娠届 5り目標を達成しまし ミズクリニックメイワ りました。また、令
	●事業の分析(ラ	データ:表・	グラフ等)) ※根拠を	示すものや	内容を補足	するものがま	あれば貼り付	けてください。	
達成度	【アンケート実施時 【対象者】乳幼児健 【アンケート結果】			パママ教室に	来られた方			【助成	は制度の認知度】	- 0.5% その他
	知っている(よく 知らない その他	知っている、	名前だけ知	•	·· 82人 ·· 63人 ·· 1人	(43.2%)				(1人)
	【アンケート実施時 【対象者】妊娠届出 【アンケート結果】		31						(90X) 45.9%	っている (105人)
	知っている(よく 知らない	知っている、	名前だけ知		·· 23人 ·· 27人				43.2%	53. 6%
								<	何で知ったか?>複	数回答
	【ch=±/+*/-							_	報	42人
	【申請件数】		H28	1120	1120	i	単位:件)	_	、ームページ - -育て支援ガイドブッ	18人
	7+1\n=			H29	H30	R01	R02		パスター	1人
	不妊治療		3	8	9	15	15	_	(ーぷるママ	0人
	不育症治療		'	3	2	1	2	<u> </u>	子健康手帳アプリ - ・の他	人8
	評価	■ A. 増加	する傾向に	ある] B. 現状と変	をわらない 		□ C.減少する傾 	向にある
	評価の根拠及び理			<u> </u>	H-0/65 50	11-140 o.bii	^- 	5.14. * 15.1/1.d=		
ニーズの方向性	とがあると言われ す。また、令和3	れています。 年から特定7	また、不 「妊治療費	妊を心配し 貴助成の所得	たことがあ 骨制限が撤廃	る夫婦は35. Wされたこと	.0%であり、 こもあり、国	夫婦全体の約 として、不知]2.9組に1組の割 [.] [治療に悩む夫婦に	現在受けている)こ 合と言われていま 対して経済的支援を はニーズが高いと考
	=v./#	■ 1 日志	ナクサバナ	ロオベに中体		コロ 日志すぐ	せんぎょうが味	門が必面		がエレ / ジャハ
	評価		9 赤地かめ	りすぐに実施	3 L	」 D. 兄但 9 牙	地があるが時	间小必安	□ C. 見直す余地	いはてかてない
**** • D * 1 • 0 III	評価の根拠及び理事業に関する影		1. 不妊	,不奈沙療	が必要か去	生 増加して	ハイニとがま	そうらわます	会络+ 广起 · 志·	ームページ、健診の
事業の見直し余地 (改善点)	場等で啓発するに 県の特定不妊治	まか、個別に 台療助成の所 ハて助成制度	周知でき 得制限が を利用さ	るように近 撤廃された れた方、相	隣の産婦人 ことを受け	科でのチラ て、上牧町	シ、ポスタ- も所得制限を	-掲示を継続 -撤廃し、周	します。 知を図ります。	の延長等の事業内容

- 6											
		施策展開	□ 現状の	まま継	続 ■ 見直しして継続		一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
	● 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) 事業に関する認知度は向上し、不妊・不育治療が必要な方も増加していくことが考えられます。今後も広報、ホージ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。 さっかけで一番多かった広報においては、年2回の掲載を年3回に増加して周知し、一人でも多く不妊・不育に困ってに利用してもらえるようにします。 県の特定不妊治療助成の所得制限が撤廃されたことを受けて、上牧町も所得制限を撤廃するため、早期に広報等にを図ります。 就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知ます。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談に来られた方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間のの事業内容について検討をしていく必要があります。									知った でいる方 こて周知 ロを図り	
	美 (改善内	和3年度 施予定 容を踏まえて ください。)	す。今後も「 ター掲示をA 子どもがい 令和2年度 不妊治療「	広報、 継続し る転力 をのア につい	lった方が多かったため、こホームページ、健診の場等はます。令和3年度からは、「着へ配布している資料に、ンケートを令和3年度も継続に、かけったを令和3年度もといて助成制度を利用された方いて検討をしていく必要か	で啓発 所得制 一般不 して実 で、相談	するほか、個限の撤廃のため 限の撤廃のため 妊・不育症治施します。 後に来られた方	別に周知できるように近め、早期に広報等にて周知 対のである。 大学のできるように近 大学のできる。 は、 できるように近 は、 できるように近 は、 できるように近 は、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 の、 できるように近 のい、 できるように近 のい、 できるい。 できる。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できるい。 できる。 できるい。 できる	隣の産婦人科口を図ります。 封して周知を	でのチラシ、 また、就学 図ります。	ポス 前までの
				独自	事業認知度(よ	く知っ	ている、名前	だけ知っている人の割合)		55%	
			指標 (予定)	-							
1				_]							

挂	旦当課	住民保険課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	44ページ
ł	旦当係	国保係	関連部局	福祉課、こども未来課、生き	き活き対策課、教育総務課	

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 事 耒恢安 PLAN												
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―										
総合計画上の 位置づけ	基本施策	② 医療										
	施策の展開方向	④ 保健・福祉・医療との連携										
	タイトル	町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせるまち										
		応じ安心して医療が受けられるようにするとともに、家庭や地域において、町民一人ひとりが健康づくりに取り組みながら、心 に健康でいきいきと暮らせるまちを目指します。										
想定される取組	【保健・福祉・医療	建・福祉・医療の連携体制強化】										
令和2年度 実施予定	す。関係各課と連携	福祉医療制度(医療費の助成事業):対象者の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るために条例に基づき医療費の助成を実施しま。関係各課と連携強化を図り、医療費助成を適正かつ円滑に遂行します。障害者(等級1、2級)の方で心身障害者医療/重度心身障害 ・老人等医療の未受給者には関係課と情報共有できる体制を整えます。										
	指標①	目標(値)										
独自の指標	指標②	目標(値)										
	指標③	目標(値)										
総合戦略の取組												

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

۷.	大心心不	IDO (実施)」							<u>(単位:十円)</u>
佰	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	*
* / 2	.ロ/千皮 	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	VHI	כי
	行んにを	弗 肋氏束类	101, 299	96,310	97, 019	98, 764	95, 858		
	価値 と (本)	費助成事業	101, 299	96, 310	95, 200	82, 270	92, 734		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	101, 299	96, 310	97, 019	98, 764	95, 858	5年間累計	489, 250
		(R03時点)	101, 299	96,310	95, 200	82, 270	92, 734	5年間累計	467,813
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年) 実績値	R02 (2020年) 目標値	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
					実績値		

保健・	福祉・	医療との連携	

車業の分析「CHECK (証価)

3. 事業の分析 CHE	:CK (評価) 」									
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった							
	独自の指標①		実績(値)							
	独自の指標②		実績(値)							
	独自の指標③		実績(値)							
		平価の根拠・理由)								
達成度	のスポーツ共済 障害者(等級1	重携・情報共有①福祉課にて障害者手帳発行時 ②こども未来課にて児童扶養手当 を給状況 ④生き活き対策課の養育医療等に関して連携・情報共有し、医療費助成 、2級)の方で心身障害者医療/重度心身障害者老人等医療の未受給者については に制度周知の勧奨通知を送り、新たにⅠ人の方が認定となりました。	以事業を適正に行いました。							
	●事業の分析(7	データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。							
	評価	□ A.増加する傾向にある ■ B.現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある							
	評価の根拠及び理由									
ニーズの方向性		2級を受給された方は、「心身障害者医療費助成申請」のため福祉課と連携しま こおいて児童扶養手当を受給された方は「ひとり親家庭等医療費助成申請」のた								
	評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施 □ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地がほとんどない							
	評価の根拠及び現	里 由								
事業の見直し余地 (改善点)		、2級)の方で心身障害者医療/重度心身障害者老人等医療の未受給者については 等級の変更については連携出来ていませんでした。	は福祉課と連携体制を整えることが出来							
A 今後の方向性「A	(元tiun (少葉)	1								

	施策展開	□ 現状の)まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	□ 特にな				に改善内容を記載してくださ 情報連携していきます。	ιν _ο)		
令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)						5未来課にて児童扶養手当 引して情報連携体制を強化			
			-						
		指標							
		(予定)	-						
			_						
			-						

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 尹未 恢安 PLAN													
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	- めきがうまれるまちづくり-	_								
総合計画上の 位置づけ	基本施筑	策 ③ 高齢	福祉										
	施策の展開	引力 地域	包括ケアシステムの構築										
	タイト	ル 高齢になっ	っても安心して住み続けられるまち										
目指す姿	高齢者の活動の 目指します。	の場があり、一人の)とりが健康で生きがいを持った生)	舌を送り、いつまでも自分ら	しく、安心して住	み続けられるまちを							
想定される取組													
令和2年度 実施予定	開る【活性の関係を表する。【活性の関係をといる。」のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	【生活支援サポーター】高齢者が安心して在宅生活を継続できることを目指し、令和2年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座の開催と生活支援サポーターの活動の支援を行います。また、生活支援サポーターの増員を図るため現在ボランティアとして活躍している方にも協力を依頼し、周囲の人に養成講座について勧めていただきます。 【傾聴ポランティア】令和2年度も引き続き傾聴ポランティア養成講座の開催及びボランティア活動の助成を行い、今後より活発に傾聴活動が行えるよう支援します。 【地域ケア会議】介護サービス利用者のケアブランをもとに、自立支援に向けて多職種で支援内容の検討を行う会議を年3回(合計12事例)開催します。また、地域ケア会議の開催が必要な事例が生じた場合は随時開催します。 【認知症カフェ(おれんぢカフェ)】認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェを2か所で各月1回開催します。 【記知症カランに、おれんぢカフェ)】認知症の当事者やそのご家族、地域住民等が安心して交流できる場所となる認知症カフェを2か所で各月1回開催します。											
独自の指標	指標①		地域ケア会議開催回数		目標(値)	3回							
は日の扫標	指標②	指標② 目標(値)											
総合戦略の取組													

 2. 実施結果「DO (実施)」
 (単位:千円)

		RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/##	±z
垻	目/年度	R03時点	H29 (決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	備	气
		サポーター養成事業・	41	60	93	102	102		
	活動支援	事業	41	60	93	60	95		
	傾聴ボラ	ンティア養成事業・	152	159	163	170	170		
	活動助成	事業	152	159	163	90	80		
事業	地域ケア	△議	87	71	58	77	77		
費	地域ファ	公 職	87	71	58	35	77		
	認知症カフェ事業		24	84	42	108	108		
	ロ心入口ガエノノ	ノエ ザ未	24	84	42	0	48		
		齢者等見守りネットワー	0	0	538	0	0		
	ク事業		0	0	538	0	0		
	合	(R02時点) 計	304	374	894	457	457	5年間累計	2, 486
		(R03時点)	304	374	894	185	300	5年間累計	2,057
		実施状況			②計画)	通りに実施できな	かった		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	いるため、養成講	構座の開催を中止 2000年会館と介	しました。		・在宅での傾聴活動		

●KPIの状況

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
-	指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年) 【最終目標値】	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】		
			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大模框	実績値			
生活支援サポーター・傾聴	【40歳以上のボランティア】		0	52	55	40	50	
ボランティアの人数	【40版以上のパックティップ		Ů	JL	46	40		
 認知症カフェ	 参加人数		_	62	_	15	20	
日心が1711年77 クエ	多加八致			ÜŽ.	0	13	20	
要介護認定者数	 65歳以上		1, 066	1, 215	_	1, 090	1, 100	
文/1改0000年数	03/100/2/1		1,000	1,213	1, 275	1, 050	1, 100	
成年後見制度利用支援(町	 65歳以上		7	11	_	10	13	
長申立件数)累計	0.5/05,504.11			.,,	11	10	13	

	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	成果は得られなかった
	独自の指標①	 地域ケア <i>会</i>	議開催回数	実績 (値)	6回
	独自の指標②			実績 (値)	
		平価の根拠・理由)			
達成度	ポーテン ポーテン リース リース リース リース リース リース リース リース	3人となり、43人の利用登録者に対し延 コロナ禍のため従来の施設・在宅での傾 聴と、電話での傾聴という形式に切り J、生活支援サポーターと傾聴ボランテ J目標は達成できなかったものの、コロ 令和2年度は予定通り合計3回開催し、 時開催しました。 2000年会館と介護老人保健施設でおれ 等見守りネットワーク事業】令和2年度に ドシールの読み取りにより早期帰宅に 怪に協力していただく企業・団体(協力	ポーター養成講座を開催し4人が修了した 186件の困りごと(草刈り、買い物代行等 聴は中止し、ボランティアがイラストを: 替えコロナ禍に合わせた活動内容に変更 イアの合計が46人(活動休止中の生活支・ ナ禍でも可能な限り活動を継続しました。 12事例の検討を多職種で行いました。ま んぢカフェを開催する予定でしたが、新 は新たに7人の方が申請され、令和2年度オ つながったケースが2件ありました。日頃 事業所)の登録は12箇所あり、認知症の)に対応しました 描いた絵手紙にメ しました。傾聴ポ 援サポーター11人。 。 た、至急検討が必 型コロナウイルス 時点で19人の方 質の見守り活動や4 方の見守り体制の	た。また、傾聴ボラン ッセージを書いて郵 パランティア養成講座 とく傾聴ボランティア4 要な2事例に対して合 感染拡大防止のため が登録しています。ま 行方不明発生時に日常
	●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すも 	のや内容を補足するものがあれば貼り付 	けてください。	
		【上牧町高齢者等見守りネット	ワーク事業登録者数(各年度末時点人数	女)】	
		12人 R01	19人 R02		
	評価	■ A.増加する傾向にある	□ B.現状と変わらない	□ C.減少する個	向にある
	評価の根拠及び理				
ニーズの方向性	とが予想されます クが増加すること	す。また、高齢化だけでなくコロナ禍に	サービスでは対応できない日常生活の困 伴う外出自粛により社会活動の機会が減 がお互いを見守る共助が更に重要になり す。	少することに起因	して認知症等のリス
	評価	□ A.見直す余地がありすぐに実施	■ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地	地がほとんどない
	評価の根拠及び理	<u> </u>			
事業の見直し余地 (改善点)	すが、特に生活す	支援サポーターの実際に活動できる人数	ィア活動が困難な状況下でそれぞれ感染 が少ない現状があります。今後各ボラン した上でボランティアの人数を増加させ	ティア活動のニー	-ズが増加傾向にある

11 / 120//3	HILL ACTION (B)	<u> </u>								
	施策展開	■ 現状のま	ま継続	□ 見直しして継続		-時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	ティア活動を	Iき続き生 €してみた カけができ		成講座を担い手に	を開催し、ボラン こ向けた発信及び、	、支援を必要として	・´ 」を図ります。 こいる方に生活	支援サポー	ターがど
美 (改善内	和3年度 施予定 1 週 を踏まえて マ ぐ ださい。)	を活【法【(【住【とQR」によるになっていると何ない。 関動傾(地合認民上でコールでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	と と と も る い 意 議) 開 い て る を う て い う が う が り 、 の で い う が り が り が り の で り の で り の で し て り て り て し て し て り に し て り て り に し て り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	】 言語を 高語者 を 高語者 を で の の の の の の の の の の の の の	活ィン援プ会ロ症】早の大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それ	爰を継続します。 一緒に作成します。 の養成講座は中山 す。 をもとに、自立支 開催が必の感染状況の 正で開により行方で 記で開によるよう支	また、新たな担い手 する予定ですが、 援に向けて多職種で が生じた場合は随時 を考慮した上で、 記 ま明になる可能性のあ 援します。登録した	の発掘及び支引き続きコロニテ支援内容の検 開催します。 認知症の当事者 5る方の個人情 た方には、衣服	援を必要と け禍でも可能 討を行う会 でものご家 ででいます。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる	する方に 能な傾聴方 議を年3回 次族、地域 こる でまする
			KPI	生活支援	き サポー?	ター・傾聴ボラン	ティアの人数		50	人
		指標(予定)	KPI		認知	1症カフェ参加人数	<u></u>		15	人
			独自		地域	ばケア会議開催回数	Ż .		3[

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	社会福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

	政策	É	② 住民社	福祉―ともに支える	らい健やかでとき	めきがうまれるまちづくり-	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施	施策	③ 高齢	福祉								
	施策の展	開方向	方向 ② 高齢者の生きがいづくり									
	タイト	√ル i	高齢になっ	ても安心して住み	続けられるまち							
目指す姿	高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを 目指します。											
想定される取組	【シルバー人 策】	ジルバー人材センター・シルバークラブの支援・活用】【ときめきクラブの拡大【地域での体操教室】】【高齢男性の引きこもり対 []										
令和2年度 実施予定	事務局とし 等の支援を継 〇シルバー人 高齢者が健	〇シルバークラブ連合会 事務局としてシルバークラブ会員(60歳以上)が行う、高齢者自らの生きがいを高める健康づくりを進める活動やボランティア活動 等の支援を継続します。 〇シルバー人材センター 高齢者が健康で生きがいをもって働き続ける「生涯現役社会」を実現するため、「草刈り業務」「2000年会館内清掃業務」「2000年 会館管理業務」「ほほ笑みサロン片岡管理業務」の依頼を継続します。										
	指標①						目標(値)					
独自の指標	指標②						目標(値)					
	指標③	旨標③ 目標(値)										
総合戦略の取組												

2. 実施結果「DO (実施)」

(単位:千円)

12	1日/生産	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ #	考
埠	[目/年度	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1/10	5
	用Tミノルノバ	ークラブ連合会補助金	2, 537	2,534	2, 522	2, 604	2, 725		
	P10707 クラク是自公開助並		2, 537	2,534	2, 522	1, 769	2, 551		
	5.11.15—	人材センター運営費補助	8, 750	9,500	9, 950	9, 950	9, 950		
		八何 ピクター 建西貝冊の	8, 750	9,500	9, 950	9, 950	13, 950		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	11, 287	12,034	12, 472	12, 554	12, 675	5年間累計	61,022
		(R03時点)	11, 287	12,034	12, 472	11,719	16,501	5年間累計	64, 013
	実施状況				②計画:	通りに実施できな	かった		
	令和2年度 実施結果			び連合会 ゴルフ、さわやか) Oため、事業を実			-リング等の事業	については、新雪	ピコロナウイル

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年)	実績値 -	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			12 1 12	大模但	実績値			
シルバークラブ会員数	【60歳以上】		1, 543	1,565	1, 565	1, 750	1, 900	
フルバープラブ公員奴	100%\$\(\omega\)		1, 545	1, 303	1,517	1, 750	1, 500	
シルバー人材センターの登	登録者数		277	298	308	300	320	
録者数 	立外日外		277	270	288	300	320	

高齢者(カナナ	がいー	5/11
二十二 ($n + \tau$	111.1) < V j

3 事業の分析「CHECK (証価)」

3. 事業の分析 「いた						
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.	概ね目標の成果が得られ	nt [] C. 目標とする	成果は得られなかった
	独自の指標①				 [積(値)	
	独自の指標②			ş		
	独自の指標③			5		
		平価の根拠・理由)				
	〔シルバークラ〕 春のグラウント を行いました。 秋のグラウント	打ち合わせ会議への参加や事業実施の補助を行い ブ連合会事業実績] ドゴルフ 毎年、春に実施していましたが、令和 ドゴルフ、さわやか旅行、ウォークラリー、フロ 業を中止しました。	12年度は新型コロナワ	ウイルスの感染物		
	登録者数は、前	ロイト 日本度より減少しましたが、草刈り・清掃作業・ 青掃・広報やチラシの配布・一般家庭での家事援			パ) でのカー	>整理・介護施設で
	●事業の分析(元	データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容	を補足するものがあ	れば貼り付けて	ください。	
		【シルバークラブ連合会事業参加者数】		204	(単位:人))
	_	 季のグラウンドゴルフ	H30	R01	R02	
	F	■ のクラフトコルフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	102	78 93	中止	32
	F	************************************	114	95		_
	-	ションマルが(1) ウォークラリー	114	116		-
	-	フォークラリー フロアカーリング(上牧第一町民体育館)	117	105		-
	-	フロアカーリング(土牧第一町氏体骨貼) フロアカーリング(上牧第二小学校)	75	85		-
	-	フロアカーリング(上牧第三小学校)	124	107	—————————————————————————————————————	-
	Ľ	2007 J J J J (124	107	1122	_
	評価	■ A. 増加する傾向にある □ B.	現状と変わらない			 句にある
	 評価の根拠及びヨ	里由				
ニーズの方向性		高齢化率が高まるにつれて、高齢者の単身世帯や くなります。地域での支え合いや集いの場の確保			、高齢者の生き	₹がいづくりの場の
	 評価		見直す余地があるが時間	 間が必要 Γ] C. 見直す余地/	 がほとんどない
	 評価の根拠及び ¹	_				
事業の見直し余地 (改善点)	シルバークラフ	≡田 ブ連合会の事業については、参加者の固定化が見 ラブと協議を進めながら、高齢者同士のつながり ブ未組織の地区に対し、立ち上げに向けての働き	を維持する活動内容			ついて、今後も継続
4. 今後の方向性「A	CTION(改 <u>善)</u>]				

		施策展開	■ 現状の	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性 改善内容 (改善点に対する 改善方法等) □ 特になし ■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) □ シルバークラブ連合会の事業については、参加者の固定化がみられるため、支援の方法や集いの で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を検討しながら、高齢者同士のつながりを維持する活動で										つい
	美 (改善内	和3年度 R施予定 J容を踏まえて ください。)	は、新型コ 定期的な会 開催を支援 ○シルバー	ウンドゴバロナウイル 議や研修を し未組織な 人材センタ	レフ、秋のグラウンドコ レスの感染状況を見なか 会についても、回数等の 地区への働きかけを行い ター	「ら、実施の判断や _の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	行、ウォークラリー、フロ 代替事業について団体と協 ら、事務局として活動支援 業務」「ほほ笑みサロン片	議を行い検討 を継続します	けしていく予定 ⁻。会員増強委	≧です。 養員会の
				KPI		シルバークラフ	ブ会員数		1, 750.	人
			指標	KPI		ノルバー人材センタ	一の登録者数		300人	
			(予定)	_						

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒慨安 PLAN											
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでと	きめきがうまれるまちづくりー	_						
総合計画上の 位置づけ	基本施定	策 ③ 高齢									
	施策の展開	見まり おおお おおお おおお ままま ままま ままま こうしゅう ままま ままま ままま ままま ままま しゅう	高齢者の生きがいづくり								
	タイトル	ル高齢になっ	っても安心して住み続けられるまち								
目指す姿	高齢者の活動の 目指します。	i齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを 指します。									
想定される取組	【シルバー人材 策】	[シルバー人材センター・シルバークラブの支援・活用] 【ときめきクラブの拡大【地域での体操教室】】【高齢男性の引きこもり対 [3]									
令和2年度 実施予定	見守りが必要		活動)】 者を対象に地域における「ふれあ 5の行事、手技や講演会の参加等の			進に向けて、地区公					
	指標①		友愛訪問活動チーム数の確例	₹	目標(値)	18チーム					
独自の指標	指標②		活動内容の拡充		目標(値)	2種類以上					
	指標③		目標(値)								
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位: 千円)

_		·DU (夫他/)							(単位・十円)
酒	 目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/#	考
坦	R03時点		H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	WH;	75
	介護 Ӡ吐・	サロン助成委託料	800	792	890	890	890		
	八茂 小川	プログ助成安配件	800	792	890	792	890		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	800	792	890	890	890	5年間累計	4, 262
		(R03時点)	800	792	890	792	890	5年間累計	4, 164
		実施状況				通りに実施できな			
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	より活動内容が制	各地域で合計17 [.] 削限されました。	チームが介護予防	を目的に活動を行	テっていますが、 ┊	新型コロナウイル	ルス感染拡大に

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2019年) (2015年) 【基準値】 実績値		R02 (2020年) 目標値	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
					実績値		

高齢者(カナナ	がいー	5/11
二十二 ($n + \tau$	111.1) < V j

3 事業の分析「CHFCK (評価)」

3. 事業の分析 ! い!									
	評価	☐ A. 目	票よりも大きな成果が得られた		■ B. 概ね目標の)成果が得られた	=	□ C.目標とする	る成果は得られなかった
	独自の指標①		友愛訪問活動	カチー ユ	ム数の確保			実績(値)	17チーム
	独自の指標②			内容の打	 拡充			実績(値)	2種類
	独自の指標③							実績(値)	
	●事業の分析(詞	平価の根拠	・理由)						
	友愛活動では名	各地域で合	計17チームが介護予防を目的	りに活	動を行ってい	ます。新型コ	ロナウイル	ノス感染拡大によ	り活動内容は制限さ
	れましたが、感染 活動本部が購入し	砕対策をし √たスカッ	つつ訪問・声かけを実施する トボールでの活動や、手作り	るなど	可能な範囲でクを製作し配	活動しました 布するなど	。令和2年 コロナ禍 <i>た</i>	度は新たな活動 "からこそできる	内容の拡充として友愛 活動を検討し、可能
			がりの維持に努めました。		7 - 2011 - 0 110			> = 0 100	
達成度									
连风区									
	●事業の分析(元	データ:表	・グラフ等)※根拠を示すも	ものや	内容を補足す	るものがあれ	ば貼り付け	けてください。	
			【友愛活動数及びチーム数】	1					
					H30	R01	R02		
			上 五741世						
			友愛活動数	-	78	80	41	_	
			友愛活動チーム数		18	18	1'	7	
	=11 /m	_ , ,,,,,	hn → 7 /47/1 - + 7						
	評価		加する傾向にある] B. 現状と変れ)54N		□ C.減少する(i	見回にある
	評価の根拠及び理点を表の増加し		※十八に独民古物者の古物	⊻.ш.ш .	もどはもロし マロ	ノナル 古松	****	シンベノリの担义	いせんてのナミをいる
一一一一一一	ニーズはより高さ		後さらに独居高齢者や高齢者 られます。	自世市	か垣加してい	\ /この)、 同断	伯の土さん	いいフへりの場と	地域での支え合いの
ニーズの方向性									
	=m /m		+		■ p ===================================	L1×4-7-1×0+881	* > =		Land Company
	評価		直す余地がありすぐに実施 		■ B. 見直す余地	型かめるか時间/i	小少安	□ し見します	也がほとんどない
	評価の根拠及び理		集い会話をすることで見守	11.13千余	かけ足同士(ひつ ナンポリ をも	##! アハ	±1 ± 5 7 7 7	- 地元/1+#1 - 1/14/17か
事業の見直し余地	考えられます。新		-朱い云品をすることで兄子 ウイルスの感染リスクを抑え						
(改善点)	必要です。								
4 夕後の七白州「	ACTION (35羊)								

	施策展開	■ 現状のま	ま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)		
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) - 感染対策のため少人数での活動内容に変更するにあたり、5人程度の少人数で行えるスカットボールを活用します。									
(改善)	が和3年度 実施予定 内容を踏まえて てください。)	要フォロー	-高齢者世報 対を行いる	ます。また、チーム員		単位で活動可能なスカット 友愛活動未実施の地区へ <i>0</i>					
		35	虫自		友愛訪問活動チーム	数の確保		18チー	<u>ل</u>		
		1	虫自		活動内容の拡	充		2種類以	止		
		指標 (予定)	-								
			-								
			-								

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

1. 事業概要「PLAN	(計画) 」							
	政策	策 ②	住民社	福祉―ともに支え合い健やかでと	きめきがうまれるまちづくり-	_		
総合計画上の 位置づけ	基本抗	施策 ③	高齢	福祉				
	施策の展	開方向 ③	介護	予防の推進				
	タイ	トル高齢	命になっ	ても安心して住み続けられるまち	;			
目指す姿 高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるま 目指します。								
想定される取組	【各予防教室の継続】【各予防教室への参加呼びかけ】							
令和2年度	●ときめきクラブ・ためトレほぼ笑みクラブ…地域体操教室指導者養成講座の修了者が中心となり、ときめきクラブでは週1回全13か所の公民館等で実施します。そのうち5教室を住民主体の自主運営へと切り替えますが、安定した教室運営や参加者の確保ができるよう実施団体と協力して事業運営を行います。また、ためトレほぼ笑みクラブは週1回片岡台3丁目でストレッチや筋トレ等を行う教室を開催します。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の判断を行い、実施できなかった場合は、在宅でも運動ができるよう体操動画をYouTube等で公開し、身体機能の低下を予防します。●ハッピーライン教室…1クール全8回の運動習慣をつける教室を合計3クール開催します。●ハコの教室…口腔内の清潔保持や誤嚥予防等の方法について歯科医師・歯科質生力が説明し、正しい口腔ケアを身につける教室です。1クール全3回を2クール開催します。(定員各クール15人)●脳の健康教室…認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするため、簡単な読み書き・計算や体操等を行う全25回の教室です。 ●高齢者介護予防サロン支援事業…地域で活動している対象要件を満たす49団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行います。●高齢者介護予防サロン支援事業…地域で活動している対象要件を満たす49団体に対して、実績に応じて活動費の助成を行います。・※すべての介護予防教室において、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の有無や、人数の調整を行います。							
独自の指標	指標①			脳の健康教室の新規参加者数	牧	目相	票(値)	15人
独口の指標	指標②		ハッピーライフ教室延べ参加人数					330人
総合戦略の取組								

2. 実施結果「DO(実施)」

(単位:千円)

۷. :	美他結果	┊ Ⅳ (実施) 」							(単位:十円)
TE	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	<i> </i> #	考
坦	R03時点		H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1)用	5
	ときめき	カラブ	1, 344	1, 499	1,584	1, 218	854		
	23003		1, 344	1, 499	1,584	839	692		
	ためトレ	ほほ笑みクラブ	159	116	196	196	196		
	ためバレ	はは大のノフノ	159	116	196	196	196		
	脳の健康	数字	1, 834	1, 325	1, 428	1,633	1,633		
	脳の健康	叙 至	1, 834	1, 325	1, 428	616	869		
事	ما بىر \	ライフ教室	779	783	914	920	920		
費	ハッヒー	ノ1 ノ秋至	779	783	914	920	920		
	お口の教		171	171	327	394	394		
	の口の教	至	171	171	327	218	0		
	古野老人	護予防サロン支援事業	743	900	920	1, 209	1, 209		
	同即有기	設了例リロノ又仮事未	743	900	920	831	1, 209		
	÷ μΛ +/ +/μ- τὸ		648	648	605	648	648		
	高齢者教	至	648	648	605	390	648		
	合	(R02時点) 計	5, 678	5, 442	5, 974	6, 218	5, 854	5年間累計	29, 166
		aT (R03時点)	5, 678	5, 442	5, 974	4, 010	4, 534	5年間累計	25, 638

実施状況

②計画通りに実施できなかった

令和2年度 実施結果 説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止や規模を縮小した事業があり、計画通りに実施できませんでした。
●ときめきクラブ…緊急事態宣言中をはじめ感染拡大がみられた場合は一時的に中止し、再開時は参加者を2グループ
に分けて実施しました。コロナ禍による外出自粛により高齢者の運動機能低下が懸念されたことから、自宅でも体操
ができるよう、上牧町公式YouTubeチャンネルでの体操動画公開や動画のDVD化を実施しました。●ためトレクラブ…
緊急事態宣言中は中止し、再開後は参加者を2グループに分けて実施し延べ308人が参加しました。●ハッピーライフ
繁空…感染対策のため、会場の規模に合わせて予定していた15人から12人に定員を縮小して実施しました。●ハッピーライフ
教室…感染対策のため、会場の規模に合わせて予定していた15人から12人に定員を縮小して実施しました。●お口の
教室…等1クールの参加人数がコロナ禍ということもあり5人と少人数でした。より多くの方にオーラルフレイル対策
を啓発することを目的とし、予定していた第2クールに替えてお口の体操等を収録したDVDを作成する方針に変更し、令和3年度の配布に向けて歯科医師や歯科衛生士の協力のもとDVDの内容の検討や撮影・編集を行いました。●脳の健康教室…感染対策のため規模を縮小して実施しました。●高齢者介護予防サロン支援事業…感染状況や活動内容に応じて休止した団体がありました。●高齢者教室…感染リスクの高いコーラス教室は年度を通して中止しました。その他の教室では緊急事態宣言中は中止し、宣言解除後は活動内容や感染状況に応じて休止した教室がありました。

●KPIの状況 ※「RO2(決算)」は検証時点では決算見込み

● バ 10フカベルレ								
	指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			1 1 1 1 1 1 1 1 1	大模心	実績値		19075 1901112	
ときめきクラブ【体操教	設置数	教室	6	11	13	o	10	
室】の設置数	以巨奴	狄王	0	"	13	,	10	

ብ≣	#マ	Bħ0	Λ±#	准

	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする	る成果は得られなかった						
	独自の指標①	脳の健康教室の新規参加者数	実績(値)	7人						
	独自の指標②	ハッピーライフ教室延べ参加人数	実績(値)	237人						
	●事業の分析(詞	平価の根拠・理由)								
達成度	標値である15人である15分でである15寄せられた。 いたのでは、 いんのでは、 いたのでは、 いんのでは、 いん	びは緊急事態宣言中等の中止期間を除き、感染対策を講じた上で週1回全13箇所で 成することができました。 らすべての教室で通常通りの実施はできませんでしたが、コロナ禍の今だからこ 室で感染対策を講じ必要に応じて活動内容を柔軟に変更するなど可能な限り教室	も継続して実施・ 度の実施体制を検 な大防止のため定け な大防止のため定け てキャンセル待ち の参加者に身体能 で延べ2,223人の受 そ介護予防の取組 を継続しました。	参加を希望する意見 討する必要がありま 員を縮小して実施した が発生しており、コ 力の向上・維持が見 講者が教室に参加						
	●事業の分析(き	データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。							
	評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない	□ C.減少する値	傾向にある ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	評価の根拠及び理由									
ニーズの方向性		本力低下や社会性の低下などのフレイル(虚弱)のリスクが高くなるだけでなく、 因となることから、より一層の介護予防の啓発や教室の実施を通して運動習慣の								
事業の見直し余地 (改善点)	評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施 □ B. 見直す余地があるが時間が必要		也がほとんどない						
	評価の根拠及び理	里由								
		ブについてはキャンセル待ちが出ている状況であり、会場や指導者の確保に努め す。また、コロナ禍により外出自粛の影響による様々な身体機能低下等のリスク す。								

		施策展開	□ 現状のま	ま継続	■ 見直しして継続		一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
	今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)		ため、 ついて	- 各介護予防教室の活動内	容や会は	易の人数制限	改善内容を記載してください 等に応じて規模の縮小や 教室に組み合わせること	実施内容の変		
	美 (改善内	和3年度 2 2 2 2 3 4 3 5 6 6 7 6 7 7 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 7	実た【ク【開広【のな【護【施教ハーお催く脳教視高予高し室ッル口す周の室点齢防齢のる知健をか者のおのとませのののといいのでは、からいのでは、からいのでは、からいのでは、からいをでした教のしまりをでて教施認護進室	令参イ全】はい室し知予を引力の口では、一つのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	平度は新たに4教室を住民の確保ができるよう引きの確保ができるよう引き室】全8回の運動習慣をでいる。 の教室を合計3クール開により、他の介護予防教室に口います。 り数では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	注体の配合 記した 記した 記して 記して 記して 記して 記して 記して 記して 記して 記して 記して	自主運営協会 自主運営協力 を関する を関する を関する を関する を関する を関する を関する を関する で向して を関する でのして を関する でのして でのし でのし でのして でのして でのして でのして でのして でのして でのして でのして でのして でのして での	了した指導者が中心となって切り替え、13教室中9教室 して教室運営を行いまず ととなる内容と、口腔機能 低下のリスクが増大して 組み合わせる形式に変更 ために、簡単な読み書き ション・口腔機能向上講 いる対象団体に対して、領 、水墨画、ちぎり絵、民 和2年度に引き続き中止し	室が自主運営 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	となりますが 回を組み合ね 和3年度は教 向上の重要 を行う半年 室等を織り3 舌動費の助成	、安定し つせた1 室単体で 生をより 聞全24回 で世様々 ででいか
			К	(PI	<u>ح</u> ج	めきク	ラブ【体操教	室】の設置数		13箇	所
			1日1示	蚰	,	\ッピー	ライフ教室延	べ参加人数		237,	٨
			(予定) 独	抽自		脳の関	康教室の新規	見参加者		7人	
				_							

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	46ページ
担当係	地域包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 									
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり-	_				
総合計画上の 位置づけ	基本施策	3 高齢	福祉						
	施策の展開方[句 ④ マン	パワーの育成・確保						
	タイトル	タイトル 高齢になっても安心して住み続けられるまち							
目指す姿	高齢者の活動の場があり、一人ひとりが健康で生きがいを持った生活を送り、いつまでも自分らしく、安心して住み続けられるまちを 目指します。								
想定される取組	【地域における人材の発掘・育成】								
令和2年度 実施予定	【生活支援サポーター】 高齢者が安心して在宅生活を継続できることを目指し、令和2年度も引き続き生活支援サポーターの養成講座の開催と生活支援サポーターの活動の支援を行います。また、生活支援サポーターの増員を図るため現在ボランティアとして活躍している人にも協力を依頼し、周囲の人に養成講座について勧めていただきます。 【傾聴ボランティア】 令和2年度も引き続き傾聴ボランティア養成講座の開催及びボランティア活動の助成を行い、今後より活発に傾聴活動が行えるよう支援します。								
	指標①				目標(値)				
独自の指標	指標②				目標(値)				
	指標③			目標(値)					
総合戦略の取組									

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

	- COOTHIT	・60(大心)」							(半位・1口)
佰	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
炽	R03時点		H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	C, tell	
	生活支援サポーター養成事業・		41	60	93	102	102		
	活動支援	事業	41	60	93	60	95		
		ンティア養成事業・	152	159	163	170	170		
	活動助成	事業	152	159	163	90	80		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	193	219	256	272	272	5年間累計	1, 212
		(R03時点)	193	219	256	150	175	5年間累計	993
		実施状況	②計画通りに実施できなかった						
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	の開催を中止しま	/ルス感染拡大防.	止のため施設・在	宅での傾聴活動な	を中止し活動内容	を縮小しているが	こめ、養成講座

※「R02 (決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
	指標の説明	W/L	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			<u> </u>	大模型	実績値		TAKE TO THE	
生活支援サポーター・傾聴	【40歳以上のボランティア】		0	52	55	40	50	
ボランティアの人数	(HOMASALLOSAIN S S A T)	^			46	-10		

マンノ	パワー	の育成	; •	確保

J. 事未 の力削「G	ILCK (PI IM)									
	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた ■ B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった							
	独自の指標①		実績(値)							
	独自の指標②		実績(値)							
	独自の指標③		実績(値)							
	●事業の分析(記)									
達成度	生活支援サポー 録者に対し延べ1 設・在宅での傾明 いう形式に切り者 傾聴ボラン傾聴ァ ター11人と傾聴ァ	-ター・傾聴ボランティア】 -ター・横成講座を開催し、4人が修了したため実際に活動している生活支援・86件の困りごと(草刈り、買い物代行等)に対応しました。また、傾聴ボー 86件の困りごと(草刈り、買い物代行等)に対応しました。また、傾聴ボー 81は中止し、ボランティアがイラストを描いた絵手紙にメッセージを書いて 春えコロナ禍に合わせた活動内容で変更しました。 イア養成講座の開催中止により、生活支援サポーターと傾聴ボランティアの ボランティア4人は除く)となり目標は達成できなかったものの、コロナ禍「	ランティアの活動はコロナ禍のため従来の施郵送する手紙での傾聴と、電話での傾聴といき計でも付いた。 か合計が46人(活動休止中の生活支援サポーでも可能な限り活動を継続しました。							
	3/3/4/7/33/1/1 (7	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	71377 17227 0							
	評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある							
	評価の根拠及び理	評価の根拠及び理由								
ニーズの方向性	とが予想されます クが増加すること	や独居高齢者の増加に伴い、介護保険のサービスでは対応できない日常生活 け。また、高齢化だけでなくコロナ禍による外出自粛により社会活動の機会 どが危惧されるため、地域全体でお互いがお互いを見守る共助が更に重要に ○必要性はより増していくと考えられます。	が減少することに起因して認知症等のリス							
	評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施 □ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C.見直す余地がほとんどない							
	評価の根拠及び理	里由								
事業の見直し余地 (改善点)	すが、特に生活す	イルス感染拡大の影響で本来のボランティア活動が困難な状況下でそれぞれ を援サポーターの実際に活動できる人数が少ない現状があります。今後各ポ 型コロナウイルスの感染状況を考慮した上でボランティアの人数を増加させ	ランティア活動のニーズが増加傾向にある							

ı		施策展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
			□ 特にな		_		卆に改善内容を記載してください 	- /		
	今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	ティア活動	をしてみ けができ	たいと思っている新たなるか知ってもらうことを	担い手に向けた針	ボランティアの人数の増加 信及び支援を必要としてい 活動しているボランティア	る人に生活支	援サポーター	がどの
) (改善内	和3年度 実施予定 3容を踏まえて ごください。)	生活支援サ な広報記事 【傾聴ボラ 令和3年度	安心して ポーター をボラン ンティア をも傾聴:	在宅生活を継続できるよりの活動支援を継続します アティアと一緒に作成しま ア	。また、新たな担 す。	引き続き生活支援サポータ- 別い手の発掘及び支援を必要 すが、引き続きコロナ禍でも	とする人に活	動内容が伝わ	るよう
I				KPI	生活支援	サポーター・傾耳	恵ボランティアの人数		50人	
l				_						
			指標 (予定)	-						
				-						
				-						

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

1. 事業概要「PLAN	<u>(計画)」</u>			
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―	_	
総合計画上の 位置づけ	基本施策	④ 子育て支援		
	施策の展開方向	① 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援		
	タイトル	子どもたちの笑顔でいっぱいのまち		
目指す姿	地域と行政の協働や町 と思えるまちを目指し	民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、 ます。	上牧町で子ども	を産み育て続けたい
	幼児健診の実施】【新 接】【マリッジサポー	13742		
令和2年度 実施予定	産(BT年) かま、 大きな での日本で での日本で での日本で での日本で での日本で での日本で での日本で での日本で での日本で での日本に での日本に でのして でのして でのして でのして でのして でのして でのし、 は保な幼幼で でいまで でい でいまで でい でい でい でい でい でい でい でい でい で	で教室」に変更、妊婦 妊娠期の食事、沐浴体験、妊婦体験、保健事業の結 識習得、参加者同士の交流会、先輩ママとの交流会(A日程)を年4セットも参加してもらえるよう日曜開催)実施します。妊娠届提出時に子育て世代産師・専任保健師)が全件面接を行い、教室参加勧奨を実施します。母子付す。アンケートを実施し、参加者のニーズを把握することで、教室の内容で、胎児モデルや視聴覚教材を活用し、より分かりやすく、楽しく学んでもら討します。ウンセリングの拡充、母子健康手帳発行時の保健師による全件面接センターが、妊娠届出提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期が節と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行います。助産師と地区担管育児について、発養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること(保護・並びに早期治療を受けることの指導、助言含む)等全般に指導、助言を行います。赤ちゃん訪問記念品(育児カタでん訪問実施率100%を目指します。	(A日程: 1時間: 代包括支援センタ (大包括支援センタ 使力 を) から の切りますしから のの いから にいた (大のな) から (大のな) から (大のな) から (大のな) がら (大のな) がった	80分、B日程: 2時間) 一の母子保健コー 登録を動奨といいて、 意教室内が加者同士の い細やかな庭問等を が家庭的等を行いて に産後の観察をを 提供を行贈呈する取 る支援として、電話
独自の指標	指標①	赤ちゃん訪問実施率	目標(値)	100%
	指標② パル	『の教室参加割合(パパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%)	目標(値)	20%
総合戦略の取組	18. プレパパママ教室の開	催 20. 乳児・幼児健診受診の促進 21. 子育て世代への訪問型個別支援拡充	援の	

2. 実施結果「DO(実施)」

(単位:千円)

<u> </u>		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							(単位・十円)
10	頁目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ / #	考
1	4日/ 千皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1VH3	5
	新米ママ	への訪問カウンセリング	7	24	30	444	31	令和2年度から赤ち 含まれます。	ゃん訪問記念品が
	事業		7	24	30	343			
	マタニテ	ィ教室(パパさん教室含	28	105	11	113	38	令和3年度から保育 ます。	士の報酬が含まれ
事	む)事業	費	28	105	11	111	60		
業費									
	合	(R02時点)	35	129	41	557	69	5年間累計	831
		(R03時点)	35	129	41	454	461	5年間累計	1,120
		実施状況			③計画の内容	に加え、別の取締	且も実施した		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	室を追加し実施し	対室に関しては、 [;] シました。	参加者に取り上げ	で欲しいテーマを	を伺い、要望の多	かった内容につい	て、新たに教
							VI/ FD00 ()+	質) 1 / 1 大松 江 1 1	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

KP1の私況							
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
			1 1 1 1 1 1	大視他	実績値		

車業の分代「CUECV (証価)」

· +**	171 · CIIL	UK (評個 <i>)</i>)]									
		評価		A.目標よりも大	きな成果が得られた	■ B. 概ね目標の成	果が得られた	□ C.目標とす	る成果は得られなかった			
		独自の指	標①		赤ちゃん	∪訪問実施率		実績(値)	98%			
		独自の指	標② ハ	パの教室参加	割合(パパの教室	参加者/母子健康手帳	発行数×100%)	実績(値)	20. 7%			
				根拠・理由)								
達成度	E.	①プレパパママ教室の開催 「上牧町保健事業予定表」「広報かんまき」「ホームページ」「母子健康手帳アプリ」に教室の開催を掲載するこ時に全件、教室を担当する助産師や保健師等の専門職員が面接を行うなど、マタニティ教室への参加を促していますから後期にかけて妊婦へ電話をかけ様子を確認し必要な支援を行う中で、教室の勧奨を実施しました。(妊娠届出件年度より微増していますが、出生数は平成30年118人、令和元年102人、令和2年82人と減少傾向がみられます。)5月は緊急事態宣言中のため、教室は中止しましたが、6月以降は感染症対策を講しながら、参加人数によっては、おり広い会場で実施するなど、3密にならないよう工夫し、11回開催しました。 令和2年度は参加者延べ人数は77人(実48人)で、そのうち夫の参加者延べ人数は25人(実19人)であり、「パパのパの教室参加者/母子健康手帳発行数×100%)」は、目標値20.0%に対し20.7%で目標を達成しました。(参考)参加者延べ人数は77人(実48人)で、そのうち夫の参加者延べ人数は25人(実19人)であり、「パパの数室を加者/母子健康手帳発行数×100%)」は、目標値20.0%に対し20.7%で目標を達成しました。(参考)参加者延べ人数経年実績:28人(H28)、35人(H29)、50人(H30)、47人(R01)教室で取り上げて欲しいテーマを伺い、要望の多かった内容について、新たに教室(C日程)を追加し4回実施しま多くなったこともあり、延べ人数が大幅に増加しました。 教室後に実施したアンケートでは、満足度は5段階評価で、A日程平均4.7、B日程4.9、C日程5.0であり、全日程ともた。このことから満足度の高い教室を実施できていると評価しました。2新米ママへの訪問カウンセリングを加ました。 教室後に実施したアンケートでは、満足度は5段階評価で、A日程平均4.7、B日程4.9、C日程5.0であり、全日程ともた。のこのから満足度の高い教室を実施できていると評価しました。 第型コロナウイルス感染症の流行により、計問を希望される方は産後2か月までに家庭訪問を行いました。財産師と地区担当保健師か全戸訪問を行うとしてコロナウイルス感染症対策のため、産後2週間での電話等で要支援と判断した対象者のみ地区担当保健師と2人体制では発生供(カタログギフトの贈呈やごみ袋の配布等)や支援につなげることができました。訪問拒否の理由は、新型コロナウイルス感染症が策のため、産後2週間での電話等で要支援と判断した対象者のみ地区担当保健師と2人体制では発生供(カタログギフトの贈呈やごみ袋の配布等)や支援につなげることができました。訪問拒否の理由は、新型コロナウイルス感染症の流行により、第別児健節については、最近において低下しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、方がいたことが受診率の低下に影響を与えていると考えられます。未受診者に対しては、所属している保護別と情でり等の対応を継続しています。										
		●事業の分	析(データ	:表・グラフ等	等)※根拠を示す:	らのや内容を補足する	ものがあれば貼り付け	けてください。				
		評価		A. 増加する傾向	にある	□ B. 現状と変わら	ない	□ C.減少する	傾向にある			
		評価の根拠	及び理由									
ニーズのた	可性								同じ境遇の人がいなく ニーズは高まると考え			
		評価		A. 見直す余地が	ありすぐに実施	□ B. 見直す余地が	あるが時間が必要	□ C. 見直す余	地がほとんどない			
		評価の根拠	及び理由									
事業の見直 (改善点	し余地	また、今後 高い教型コン る母親に対 あちゃん訪 ます。	も継続して:目指してい!ナウイルス! しては、理 しては、理	アンケートを きたいと思いる の感染拡大状況 由を明らかにで 匿名のアンケー	実施し、教室の満ります。 ます。 兄を見ながら、感 するとともに、今行 ートを実施するとの	染防止策を十分に講じ 後も来所にて対応した	たり、視覚教材等の 、安全安心な家庭訪 りと個々に応じた支 念品の内容等を検討	媒体を使用する。 問について検討! 援をしていきた!	ことで、より満足度の します。訪問を拒否す			
1. 今後の方	向性「A	CTION (改	(善)									
	施卸	能展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)			
今後の	改善		□ 特になる	: 上の個を全図		■ 改善点あり(下の枠に	改善内容を記載してくた	ださい。)				

4. フ1友(リ)刀	円性 ACTION (D	(普)]												
	施策展開	□ 現状のまま総	続 ■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)						
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	□ 特になし ■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) 上記、改善点の欄を参照												
) (改善内	和3年度 長施予定 内容を踏まえて てください。)	毎	10、1月): 妊婦体験、沐浴11、2月): 妊婦体験、沐浴11、2月): 助産師に聞いてほ12、3月): 産前に聞いてほ2・全日程9:30~11:30 ・ 立日程9:30~11:30 ・ 助産師等の専門職が教室参いが表でいるが、近点が変いが、が変いが、が変いが、がいるのは、からののでは、からの、新生児出機が、いいないで、でいます。では、いいないでは、では、いいでは、いいでは、では、いいでは、では、いいでは、では、いいでは、ないでは、では、いいでは、ないでは、な	は体験、育児の見える化の 対機の話、母と はい「産後」の同見える化の をとしい「産後」の同見に話、 はい日程のもちに回ます。 はい動奨を実施します。 母、感染度・ 母、感染を主が、 か全性・ がは、 の会性をいます。 の会性をいます。 の会性をいます。 の会性のは、 の会性のは、 の会性のは、 の会性のは、 の会性のは、 の会性のは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、	2ワーク等 2ワーク等 いて、管理栄養士の妊娠 育児体験等(初産婦さん 同に開催) また、広報・ホームペー: の全件面接(令和3年度から 講じ、安全安心な家庭が リングを行い、妊娠産師とは 援を行います。助産師とは 活環境、疾病予防言含む)。 にことの指導、助言含む)。 まちゃん訪問に関する匿名の	向け) ジ は、に けいの がい は、 に 切り の は、 に 切り の は に 切り の い の の い の の い と 般 ん か ー の い の の い の い の い の い の い の い の い の い	健康手帳アプリ等 も未来課ます。 一検討し細いで実施 一検討し細いが、する の保健者に対する の保護者、助品 に対する で見れる のよう に関われる に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対す	記) 子支達 子 子 接後 診 て に の 、 に ロ						
		独自	パパの教室参加割合	(パパの教室参加者/母	母子健康手帳発行数×100%	6)	22%							
		指標 (予定) 独自	プレ	パパママ教室の満足度	(5段階評価)		4.5以上	-						
		独自		赤ちゃん訪問実施	—————————————————————————————————————		100%							

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

11 2-7/1/W/2 1 E/111															
	政策	策	② 住民社	福祉―ともに支え合い	健やかでとき	きめきがうまれる	まちづくり-	_							
総合計画上の 位置づけ	基本加	施策	④ 子育	て支援											
	施策の展	開方向	① 結婚	・出産・子育ての希望	星を叶えるため	かの支援									
	タイト	トル	子どもたち	の笑顔でいっぱいの	まち										
目指す姿	_ ,, _ ,, ,,	域と行政の協働や町民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、上牧町で子どもを産み育て続けたい思えるまちを目指します。													
想定される取組	幼児健診の	婚活イベントの企画・実施】【結婚希望者相談窓口の設置】【ワンストップ相談窓口の設置】【マタニティー教室の開催】【乳児・ 児健診の実施】【新米ママへの訪問カウンセリングの拡充】【子育て支援情報の発信】【母子健康手帳発行時の保健師による全般面 】【マリッジサポーターの募集・育成】													
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛により、町主催の婚活イベントは見通しが立ちませんが、マリッジサポーターの育成及び新規募集、月1回の結婚相談会は行う予定です。マリッジサポーターの育成及び新規募集:月1回定例会を開催し、年2回新規マリッジサポーターの養成講座を開催します。結婚相談窓口の開設:マリッジサポーターと協力NPO団体による結婚を考える男女またはその保護者を対象とした相談窓口を月1回、奇数月第4木曜日、偶数月第3土曜日に開設します。また、令和4年度には独立したマリッジ支援団体として活動していただけるよう、自立に向けて様々な準備ができるように指導・助言を行います。														
	指標①							目標(値)							
独自の指標	指標②	指標② 目標(値)													
	指標③		·					目標(値)							
総合戦略の取組	17. 出会い・紀		の実施												

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

		「W(夫他)」								(単位・十円)
西	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	老
内	.日/ 牛皮	R03時点		H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	VH	5
	业合い	結婚・子育て応援事業	坐	4, 174	3, 665	2, 165	2, 142	2, 142		
	щ д ут	小口相・ 」 月 (//ご及事)	*	4, 174	3, 665	2, 188	1, 256	2, 162		
事業費										
費										
		(R02時	点)	4, 174	3, 665	2, 165	2, 142	2, 142	5年間累計	14, 288
	合 計 (R03時点)		点)	4, 174	3, 665	2, 188	1, 256	2, 162	5年間累計	13, 445
		実施状況				1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果		組内							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの扒沈								
	指標の説明	334 / L	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			1 1 1 1 1 1 1 1	大棋世	実績値			
結婚支援①	婚活支援	組	_	3	6	8	15	
\(\text{\pi}\)	14/4人が	小丑		5	4		15	
結婚支援②	マリッジサポーター	,	_	14	15	15	24	
和相又]友生	マップッパータ	_ ^		14	15	13	24	

3. 事業の分	竹│CHE	CK(評作	曲) 」																			
		評	価	[A. E	目標より	しも大き	な成績	果が得ら	られた		B. 根	祝目標	悪の成果	見が得ら	られた		☐ C.	目標とす	「る成果」	は得られ?	なかった
		独自の	指標①															実績	(値)			
		独自の	指標②															実績	(値)			
		独自の	指標③	3)														実績	(値)			
		●事業の																				
																		は中止にな				
		スを作製	Ųまし	した。	また、	同じ	デザイ	ンで	車に貼	るマ	グネッ	トシー	-ルも	作製し	、町	の巡回	バス	3台、公用	車2台に	貼付し	ています	す。同じ
		えること	ができ	きたと	考えま	ます。												を複数回行				_
			こなって頂き、令和3年度は15人で活動していただきます。																			
			マリッジサポーター5期生の養成講座を11月と2月に行い、サポーターも一部の講座で講師を務めました。新たに1人の方にサポータ・ こなって頂き、令和3年度は15人で活動していただきます。 また、サポーターのこれまでの尽力により、令和元年度の3組に引き続き、令和2年度も1組の成婚がありました。令和元年度に成婚 れたカップルにベビーも誕生しています。以上のことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。															ポーター				
達成度	Ę	また、	サポ-	ーター	のこれ	1まで	の尽力	によ	り、全	和元年	羊度の								りましア	と。令和	元年度	に成婚さ
		れいこりツ	וענע		— ∪ ix	単土し	CVIA	9	以工0.	,,	n.o.	1班14日	が示りノ	八木 //	い付り	11/52	ちん	£9°				
		●事業の	分析	(デー	·夕:表	長・グ	ラフ等	F) ※	根拠を	示する	ものや	内容を	補足	するも	らのが	あれば	貼り	付けてくた	ぎさい。			
		【マリッジサポーター年度別推移表】 【結婚相談窓口開設曜日と相談件数】 (単位:件) 「																				
		【結婚相談窓口開設曜日と相談件数】 (単位:件) H29 H30 R01 R02																				
		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月														5期生	1127	1.00		1		
			土	木	±	木	土	木	±	祝	木	土	木	土	木	ны		4期生		$\overline{}$	2	2
		R02	0	0	4	0	0	0	0		1	1	0	2	2	10		3期生		6	5	5
		R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	2	1	2	0	26		1・2期生	9	8	7	7
																		合 計	9	14	14	15
		評			A. 埠	曽加する	傾向に	ある			[B. 琲	状と変	をわら を	<i>(</i> 1)			☐ C.	減少する	6傾向に	ある 	
		評価の根				口士火士	Λ (D)=	7	±81	- tv	11レジ	th th to	-1 \ Z	ーレタ	****	7571	ナボ	り、信頼も	- 但にも	アハス	レ老うで	2075
ニーズの方	- 台州	ニーズは					((0))	/ Л L	ーかし	יטוני	7 ⊂ 1J	1716	ะเกอ	_ C ₹	チルハロ	J < C1.	ムル	り、16棋で	3付り10	CNO	こちんで	30) C.
	TICHT																					
		評	価		A. 月	直すが	≒地がま	ありすぐ	ぐに実施	——— 包	[直す弁	・地があ	るが呼	持間が必	要	C.	見直す紀	─────────────────────────────────────	 とんどな!	۸,
		 評価の根	拠及で	び理由	 																	
		令和2年	丰度は	婚活~	イベン					ため、	登録	者も増	えず、	改め	てイク	ベントか	大切	刀であるこ	とがわれ	かりまし	た。オ	ンライン
事業の見直 (改善点		を使用す	ること	とも必	要では	はない	かと考	えま	す 。													
(3/11/11																						
- 今後の古	向性 ΓΔ	CTION (一) ၊																		
7 (2077)		表展開			犬のまま	よ 継続		見通	重しして	[継続	Г	¬ _₽	i/tri-			フェル	. rhu	F		/ 住	期:)
					「ION (改善)」 B																	
		□ 現状のまま継続 ■ 見直しして継続 □ 一時休止 □ 廃止・中止 □ 完了 (時期:) □ 特になし ■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) □ 令和3年度のイベントはオンラインで行うことにします。																				

	施策展開	□現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	□ 特にな ·令和3年度		はオンラインで行う。		- 改善内容を記載してください 	, 1 ₀)		
(改善	う和3年度 実施予定 内容を踏まえて てください。)	オンライン	婚活セミナ- 和4年度のNF	ーやオンライン婚活イ PO法人化に向けて、団	ベントを行う予定で)イベント開催は難しいと です。 導・助言等を行うほか、サ			
			KPI		結婚支援①(婚活	舌支援)		7組	1
		指標	KPI	結	婚支援②(マリッジ	サポーター)		17ノ	(
		(予定)	_						
			-						·

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 事業概要 □ PLAN											
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健や	かでとき	きめきがうまれるまちづくり	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施策	④ 子育て支援									
	施策の展開方向	② 保育	② 保育サービスの充実								
	タイトル	子どもたち	5の笑顔でいっぱいのまち								
目指す姿	目指す姿 地域と行政の協働や町民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、上牧町で子どもを産み育て続けたしと思えるまちを目指します。										
想定される取組	【育児相談窓口の	【育児相談窓口の拡充】【幼稚園教諭や保育士等の専門性の資質向上の研修の支援】									
	日常生活における基本的な習慣や態度のかん養等について、保育を行う上で特に家庭環境に対する配慮等が必要とされる児童が入所している上牧第1保育所に対し、保育士の加配を行うことにより入所児童の処遇の向上を図るとともに、障がい児等の受入れについても通常保育では難しいと判断される児童については、保育士の加配を行うことにより待機児童を生まない受入れ体制の構築を図ります。また、保育士の専門性の充実を図るため研修等への参加を積極的に行い、加えて、保育士の体調等にも留意し、体調不良時に即対応ができるなど、児童に安定した保育サービスを提供できる体制を整えます。										
	指標①					目	標(値)				
独自の指標	指標② 目標(値)										
	指標③		目標(値)								
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

	大肥和木「100(大肥)」								
佰	 目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	供	考
炽	口/千尺	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	C. and	
	伊奈特华	公人士授事 类	7, 662	7, 754	7, 565	7, 565	7, 565		
	休月刈來	総合支援事業	7, 662	7, 754	7, 565	8,584	8, 754		
	家庭支援推進保育事業		7, 536	7, 518	3, 579	3, 579	3, 579		
			7, 536	7, 518	3, 579	7, 368	7, 368		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	15, 198	15, 272	11, 144	11, 144	11, 144	5年間累計	63, 902
		(R03時点)	15, 198	15, 272	11, 144	15, 952	16, 122	5年間累計	73, 688
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)					W IDAA NH	······································	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

OKI 103-DADE							
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	RO3	R08
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				大順區	実績値		

	_					
			保育サー	ビスのタ	実	
CK(評価)」						
評価	□ A.目標よりも大きな成果が	得られた	■ B.概ね目標の成果が得られた		□ C.目標とする	る成果は得られなかった
独自の指標①					実績(値)	
独自の指標②					実績(値)	
独自の指標③					実績 (値)	
●事業の分析(詞	平価の根拠・理由)					
ました。その代表 2年度の障がい児 えます。	替として、DVDでの研修を多く は5人で、きめ細やかな保育の	取り入れて間 の実施のため	型コロナウイルス感染拡大防止の 国内研修を多く持ち、職員間の共保育士を3名加配しました。待機 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	共通理解 <i>の</i> 幾児童もな)もと保育を行 よく、概ね目標(いました。また、令和
評価	■ A. 増加する傾向にある		□ B. 現状と変わらない		□ C. 減少するf	頼向にある
評価の根拠及び理						
核家族化の進展では一次では でる環境が大きぐ 性が増えることが に配慮が必要な	展、地域のつながりの希薄化、 く変化しているので、保護者と が予想されます。また、全国的	保育士が信 内な保育士不 第一保育所の	とり親家庭の増加、兄弟姉妹の 頼関係を禁き、子育てに関する 短から、加配が必要な障がい児の 障がい児の増加が予想されます。 必要性が増すと考えます。	悩みや思 の受入れ	いを共通理解・ に私立保育所の	連携し支援する必要)体制が整わず、公立
評価	■ A.見直す余地がありすぐに	 :実施	□ B.見直す余地があるが時間が必	要	C. 見直す余均	也がほとんどない
 評価の根拠及び3	· 里由					

事業の見直し余地 (改善点)

ニーズの方向性

今後も国の動向や刻々と移り行くニーズを踏まえながら保育士の専門性の充実を図るために研修等に参加し、積極的な支援と連携を 継続していく必要があります。また、配慮が必要な子どもの増加が予想され、きめ細やかな保育のため、保育士増員の必要性が増すと 考えます。

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

3. 事業の分析「CHECK (評価)」

達成度

		□ 現状の)よよ継続	■ 見直ししく継続	□ 一時休止	□ 廃止・甲止		(時期:	
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	して、子育	における基本 てに関する(な子どもの <i>)</i>	- 上的な習慣や家庭環境 当みや食事面の心配事	- 記に対する措置等保 事、病気、家庭の悩	件に改善内容を記載してくださ 育を行う上で特に配慮が (あ等の相談を受け付け、 はきます。保育士の専門性(必要とされる児 共通理解と連携	きを図ります。	また、
令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)		に対し、保 ついても保 にし、待機 るとともに	育士の適正な 育士の加配を 児童を生まな 、園内研修を	な配置を行うことによ を行うとともに介護が ない受入れ体制の構第	い入所児童の処遇 記と連携を取り、 きを図ります。また	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	加配が必要な障 な子どもに対し を図るため研修	がい児等の多 ても対応でき 多等に積極的に	受入れに きるよう こ参加す
			-						
		1F.12	_						
		指標 (予定)	-						
			_						
			_						

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN (計画)」

_I. 事業概要 □ PLAN										
	政策	② 住民社	福祉―ともに支え合い健やかでとき	めきがうまれるまちづくり-	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施策	④ 子育	④ 子育て支援							
	施策の展開方向	向 ③ 地域	③ 地域子育て力の向上・地域における子育て支援サービスの充実							
	タイトル	子どもたち	の笑顔でいっぱいのまち							
目指す姿	はす姿 地域と行政の協働や町民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、上牧町で子どもを産み育て続けたいと思えるまちを目指します。									
想定される取組	【きめ細かな子育	【きめ細かな子育て支援体制の構築】【包括的な相談体制及び支援体制の充実】【職員の資質向上】								
令和2年度 実施予定	「つどいの広場」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年2月の終わりから休所としていますが、新型コロナウイルスの 感染状況を見ながら再開の判断を行います。 再開した場合は、感染予防に気を配りながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報 の提供・助言その他の支援を行います。また、地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不安感等を緩和し、子どもの 健やかな育ちを推進することを目的として2000年会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おひさま広場」や「サロンぽけっと」等を 実施します。									
	指標①				目標(値)					
独自の指標	指標② 目標(値)									
	指標③				目標(値)					
総合戦略の取組	7. 情報交換拠点の整									

2. 実施結果「DO(実施)」

<u>Z.</u>	. 実施結果 IDO (実施) 」 (単位: 千円)								
酒	R02時点(中長期) 項目/年度		H29	H30	R01	R02	R03	備	*
块 	日/ 千皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	J/HJ '	5
	つどいの	c.担事 数	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540		
	J = (10)	広場事業	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540		
事業費	事 **								
費									
	슫	(R02時点) 計	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540	4, 540	5年間累計	22, 700
	<u> </u>	(R03時点)	4, 540	4,540	4, 540	4, 540	4, 540	5年間累計	22,700
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果								
			•				※「R02(決3	(E) は検証時点	では決算見込み

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
ADKEA	指標の説明	M4.11-	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			1	大傾但	実績値			
地域子育て支援	【2015年度【平成27年度】4広場	人	5, 434	4, 014	2,000	5, 380	5, 326	
	【子ども・子育て事業計画】】		3, 454	4,014	2, 460	3, 300	3, 320	

3	事業の分析	LCHECK	(評価)
J.	サポツノカリハ	· CIILCI	

5. 事業の分	י ולולי	CN (<u> </u>														
			評価		□ A. 目標よ	りも大きな	は成果が得ら	られた	■ B.概	ね目標の成	果が得られ	た	☐ C.	.目標とする	る成果は得	られなかった	
		独自	目の指標	#1									実績	(値)			
		独自	目の指標	#2									実績	(値)			
		独自	自の指標	#3									実績	(値)			
			●事業の分析(評価の根拠・理由) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで閉所としました。6月から再盟しましたが、変を避けるため、今までは設けていな														
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで閉所としました。6月から再開しましたが、密を避けるため、今までは設けていなかった定員を設け、2000年会館では25人、ラスパ西大和内ささゆりルームでは15人としました。国の新型コロナウイルス感染症緊急包															
			舌支援交付金を活用して感染予防のための物品を購入し、定期的な消毒や換気等、感染予防対策を行いながらの実施となりました。 が開発したでは、 利用者数は目標値を上回り、コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流を行う場を提供するなどでき														
		利用有数は目標値を上回り、コロア橋で士育で中の加独感が深まることもある中、士育で中の親士が交流を行たことで、概ね目標の成果が得られたと考えます。										10 () 5 %	7 - 3 - 1 - 1	00000	-		
達成度	Ę																
		•=	W 0 / 1	Lr /-"	5.±	L' 44.	\•/1□1hn →		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	*	± 04°±.	10 1-10 b 1 1 1	UU- /4				
		●事:	美の分	竹(ナ ・	ータ:表・ <i>ク</i> 	ノフ ノ寺)	※根拠を	:示すも0.	や内容を	棚足りる	ものかあ	ていて貼り1	引けてく /	こごい。			_
			【つどし	ハの広場	易参加者数】												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
			R02	0	-	233	205	144	233	236	250	235	258	354	312	2, 460	
		-	R01	395	1 11	315	395	302	441	381	421	318	366	341	0	4, 014	
		-	H30 H29	322 418	_	320 434	387 451	425 340	370 461	343	359 293	276 327	333	400 369	300	4, 149	
		L	1127	410	323	434	431	340	401	333	273	321	333	307		4, 300	
			評価		■ A. 増加す	る傾向にあ	₅ る		☐ B. 現	状と変わら	ない		☐ C.	.減少する低	ஹにある		
		評価の根拠及び理由															
ニーズの方	- fa M-	事業の取組については一定の評価を得ているものと判断しています。社会環境の変化等により子育 あると考えます。							り于育(3	と抜(()—-	・人は瑁川	19 る傾回に	-				
	川山江																
			評価		□ A. 見直す	余地があり)すぐに実力	施	■ B. 見i	直す余地が	あるが時間	が必要	☐ C.	. 見直す余均	也がほとん	どない	
		評価の	の根拠	及び理	由												
事業の見直し	全州				ますが、定員 の方法を考 <i>え</i>				なかった	ことはほ	とんどあ	りません。	。しかし ^	後定員超	過が常態	訛すること	-
争業の発置し、改善点		75 OJ.	1000	,, 5,5 ,	•>>JZC •J>	20203	, ,, ,, , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
4. 今後の方					ndh e al 1 mili			— date date						— –	/n+ !!!!		_
	施第	策展開	展開 ■ 現状のまま継続 □ 見直しして継続 □ 一時休止 □							廃止・中山		□ 完了	(時期:)	_		

- 1						
	今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	えます。	が常態	■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) 乳化することがあれば、2つのクラスに分けることは人的にも場所的にも難しく、2部制	
	- 令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)		と考えます 引き続き 報の提供・ どもの健や	。 感染予 助言そ かな育	2000年会館が新型コロナウイルスワクチンの接種会場になる予定であるため、開催日 が対策を行いながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育ての他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不 うちを推進することを目的として2000年会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おびま施します。	についての相談・情 を感等を緩和し、子
				KPI	地域子育て支援	2,900人
ı			指標	_		
ı			(予定)	_		
1						

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	48ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

1. 事業概要 PLAN											
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―	-								
総合計画上の位置づけ	基本施策	後 子育て支援									
	施策の展開方向	④ 地域ぐるみの子育て支援									
目指す姿	タイトル	子どもたちの笑顔でいっぱいのまち									
	地域と行政の協働や町民同士の助け合いによる子育て体制が整い、子どもたちには笑顔があふれ、上牧町で子どもを産み育て続けたい と思えるまちを目指します。										
想定される取組	【情報交換拠点の整備】【地域における保育環境の改善事業の推進】										
		安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備を目指す上で、就学前児童をもつ保護者の交流会や子育てに関する情報交換拠点を含め、町全体はもちろん、地域住民同士で助け合いながら子育てできる体制を構築するなど、関係各課と協議の上検討していきたいと考えます。									
	指標①		目標(値)								
独自の指標	指標②		目標(値)								
	指標③		目標(値)								
総合戦略の取組	7. 情報交換拠点の整備	8. 地域における保育環境の改善事業									

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

		100 (美施)]	1120	1120	D01	D02	DOO	(.	単位:十円)
項	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
		R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	NO 3	
	つどいの広場事業							事業費は、2-4-3に計上	
	J = (10)	ム 场争未							
	変わい(中:	卒車	898	909	753	936	936		
	預かり保	月争未	898	909	753	392	1, 172		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	898	909	753	936	936	5年間累計	4, 432
		(R03時点)	898	909	753	392	1, 172	5年間累計	4, 124
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
Ank E 6	指標の説明	M4.11-	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	RO8	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			1 1 1 1 1 1	大模世	実績値			
地域子育て支援	【2015年度【平成27年度】4広場		5, 434	4, 014	2,000	5, 380	5, 326	
地域丁月(又版	【子ども・子育て事業計画】】		3, 434	4,014	2, 460	J, 360		

tth tat	バZ	ュゕ	고층	て支援

事業の分析「CHECK (証価)」

6. 事実の分析 IUIL										
	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B.概	ね目標の成果か	得られた	☐ C. E	目標とする成	(果は得られな)	かった	
	独自の指標①					実績	(値)			
	独自の指標②					実績	(値)			
	独自の指標③					実績	(値)			
	●事業の分析(評価の根拠・理由)									
達成度	までは設けていなかルス感染症緊急包括となりました。総提供等ができたこと②保護者の子育でかりまして続い	は新型コロナウイルス感染拡大防止かった定員を設け、2000年会館では活支援交付金を活用して感染予防の利用者数は目標値を上回り、コロナとで、概ね目標の成果が得られたとでが労を支援するために上牧幼稚原のよコロナ禍で利用が大幅に減少しばから実施し、必要とする保護者には	25人、ラスハ ための物品を 禍で子育て中 考えます。 で預かり保育 ましたが、コ	《西大和内ささ :購入し、定期 中の孤独感が浮 「を実施しまし コナ禍で幼稚	でゆりルームで 目的な消毒や損 まることもま いた。新型コロ 園が休園にな	は15人とし 気等の感染 5る中、子育 1ナウイルス! った際にも手	ました。国 予防対策を て中の親子 感染拡大防 手指消毒や	国の新型コロラ 行いながらの が交流を行う 対止による利用 定期的な換気	ナウイの実施 う場の 用自粛 等感染	
	●事業の分析(デ-	ータ:表・グラフ等)※根拠を示す	ものや内容を	補足するもの)があれば貼り	付けてくだ	さい。			
		【預かり保育利用回数及び上牧	幼稚園園児数】							
			H29	H30	R01	R02				
		預かり保育利用回数(回)	1,639	2, 537	2,240	797				
		上牧幼稚園園児数(人)	168	161	155	132				
	評価	■ A. 増加する傾向にある		状と変わらない	١	□ C. 泳	載少する傾向	可にある		
ニーズの方向性		等により子育て支援のニーズは増加 断しています。核家族化・共働き世 考えます。								
	評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施	□ B. 見	直す余地がある	が時間が必要	☐ C. §	見直す余地が	ぶほとんどない		
	評価の根拠及び理問	<u> </u>								
事業の見直し余地 (改善点)	定員超過が常態化	こついては定員を設けていますが、 することがあれば、何らかの方法を 夏季休業中の預かり保育は抽選には	考える必要か	ぶあると考えま	₹す。					
. 今後の方向性「A	CTION (改善) L									

	施萊展開	□ 現状の	まま継続	・ ■ 見直しして継続	□□一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	く、2部制に また、夏	広場等に するし 季休業に	■については、定員超過が常続がないと考えます。 中の預かり保育については、一部改正も行い、定員の規続	態化することがあれる 教育総務課と連携し		ることは人的		
(改善	令和3年度 実施予定 内容を踏まえて てください。)	と考えますが ての相談・1 を緩和し、 ⁻ 場」や「サ[また、上4	が、引き 情報の 子どもの コンぽり 女幼稚!	2000年会館が新型コロナウイ き続き感染予防対策を行い 提供・助言その他の援助を の健やかな育育ちを推進する。 けっと」等を実施します。 園での預かり保育も引き続 かり保育についても、希望	ながら、乳幼児及びそ 行います。地域の子育 ことを目的として200 き、新型コロナウイル	その保護者が相互に交流 育て支援機能の充実を図 0年会館とラスパ西大和 レス感染予防対策を行い	流を行う場を提図ることにより 口内ささゆりル	供し、子育 、子育ての ームで「おび	てについ 不安感等
			KPI		地域子育て支持	爰		2,900)人
			独自	預かり	保育の年間利用者数	(延べ人数)		1,000)人
			指標 (予定)						
			_						
			-						

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	50ページ
担当係	障害福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 尹未例女 FLAN								
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがう	まれるまちづくり―					
総合計画上の 位置づけ	基本施策	⑤ 障害者【児】福祉						
	施策の展開方向	① 障害福祉の充実						
	タイトル	誰もがお互いに支え合い障壁のないまち						
目指す姿		書者を取り巻く様々な障壁が無くなり、すべての地域住民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊 し合いながら共生するまちを目指します。						
想定される取組		支援体制の構築】【障害福祉サービスを提供するための 援・地域生活支援事業等の実施】	財源及び地域資源の確保】【介護・訓練等給付・自立支					
	供体制の確保に努め、 員向けのスキルアッ	障がい児通所サービスをはじめ、成果目標に掲げる事業 勉強会を開催し福祉力の向上に努めます。	に基づき、障がい福祉サービスや地域生活支援事業の提の整備に向けて協議を進めます。また、地域の専門相談 計画期間とする第6期障がい福祉計画の策定に取り組み					
	指標①		目標(値)					
独自の指標	指標②		目標(値)					
	指標③		目標(値)					
総合戦略の取組								

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

		·DU (夫他 <i>)</i>]							(単位・十円)
佰	 目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	±
块	日/ 牛皮	R03時点	H29 (決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	ŊĦ,	5
	除がい垣	业計画委託料	2, 813	0	0	3, 471	0		
	はいい、は田	11日 安配村	2, 813	0	0	2, 849	0		
	除おいなっ	祉サービス等事業費	414, 839	453, 262	500, 453	547, 620	563, 223	3	
	岸かい油	エリーに入 守事未 貝	414, 839	453, 262	500, 453	532, 115	590, 851		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	417, 652	453, 262	500, 453	551,091	563, 223	5年間累計	2, 485, 681
	<u> </u>	(R03時点)	417, 652	453, 262	500, 453	534, 964	590, 851	5年間累計	2, 497, 182
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)						<u>∽`, /++</u> &=+π±_E	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

	指標の説明	W / I	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03_	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
				NAME .	実績値		
福祉施設の入所者の地域生	上牧町第4期障がい福祉計画		2	1	2	3	4
活への移行者数				'	0		
障害児通所支援	上牧町第4期障がい福祉計画	人	31	89	107	34 38	
			31	07	107	34	30

障害福祉の充実

事業の分析「CHECK (証価)」

, <u> </u>	ווטי ולוינ	CK (評価)	1					
		評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られ	nた ■ B. 概ね目	票の成果が得られた		る成果は得られなかった	
		独自の指標	(1)			実績(値)		
		独自の指標	2			実績(値)		
		独自の指標	3			実績(値)		
		●事業の分析	斤(評価の根拠・理由)					
達成	度	障内を対している。 障内を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	画及び第5期障がい福祉計画(平成30 上サービス、障がい児通所支援サービス 口町行政間で検証を行い、サービス提) 質の向上を図る目的として、委託相記 」た、(オンラインによる実施) い福祉計画に掲げた主な目標の達成状 い福祉計画の策定 上サービスについて平成30年度から令和 度までを計画期間とする第6期障がい税 観関、一般公募町民等が参画する策定 類見を聴収し計画に反映することができ 「(データ:表・グラフ等)※根拠を記	ス、相談支援事業及び 供体制の要となる計画 炎支援事業所の協力の 況については、令和2 現については、令和2 日2年度(見込)の実績 最祉計画を策定しまし 長員会を4回開催し、記 まました。	が地域生活支援事業の 動相談員が地域で不足 かもと、西和7町共同で を年度に福祉施設から一 でである。 では、西の成果目 でである。 では、一般では、一般である。 では、一般では、一般では、 では、一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を接体制について、近している現状をふましている現状をふま地域の計画相談員スー般就労へ移行した障標に関する進捗状況は関係者や障がいサー	え、相談員の人材確保 キルアップ勉強会を2 がい者は7名となりま を検証し、令和3年度 -ビス事業者、当時者	
			【計画相談員向けのスキルアップ勉強会	훜 】				
				参加人数		テーマ		
		_	1回目(オンライン開催)	18人	精神障がい者へ	への相談支援について		
			2回目(オンライン開催)	15人	身体・知的障がい	者への相談支援につい	17	
		r	【第5次障がい福祉計画(平成30年度~	令和2年度)の主な結5 - 1	果】			
		-		H30	R01	R02		
		-	福祉施設から地域生活への移行者数	0人	1人	0人		
			福祉施設から一般就労への移行者数	3人	5人	7人		
		評価	■ A. 増加する傾向にある	□ B. 現状と3	変わらない	□ C.減少する値	頂向にある	
		 評価の根拠及	 とび理由					
ニーズの	方向性	ていくことか 達障がいや療	経福祉サービスは、手帳所持者数等の場 『見込まれ、特に伸びが著しいサービス 『育サービスの必要性が広く認知され、 【ことが予想されます。	スとして、未就学児の	療育サービスや障がし	ハ者のグループホーム	が挙げられます。発	
		評価	■ A.見直す余地がありすぐに実施	□ B. 見直す	余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余り	也がほとんどない	
		評価の根拠及	なび理由					
事業の見直 (改善)			こおいてもオンライン実施で専門相談員 - 一ジにまたがる複雑で複合化した生活					
1. 今後のブ	方向性「A	CTION (改喜	善)」					
, (20)		策展開	ョ/ 」 □ 現状のまま継続 ■ 見直しして糸	継続 □ 一時休止	□ 廃止・中	ュ止 □ 完了	(時期:)	
			☐ #±!=±>!	■ ************************************	の抗に改善内容を記載して			

	施策展開	□ 現状のる	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)		引相談員向 テ内の関係	ー けスキルアップ勉強会	を継続して実施し	こ改善内容を記載してください。 でいくとともに、生き活きが 内な意見交換や情報共有を図	· 策課、こと		
) (改善)	和3年度 実施予定 B容を踏まえて - ください。)	地域移行や- 西和7町共	-般就労へ 同実施で専	の移行等の成果目標に 評別相談員向けスキルフ	関する検証・改善な マップ勉強会を開催		プロセスを	念頭に福祉旅	設からの
			KPI	福祉施	設の入所者の地域	生活への移行者数		1人	
		指標 (予定)	KPI		障害児通所	支援		110.	人
			_						

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	50ページ
担当係	障害福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒城安 PLAN								
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―						
総合計画上の 位置づけ	基本施策	⑤ 障害者【児】福祉						
	施策の展開方向	② 関係法律の整備に関する法律に従った整備・調整						
	タイトル	誰もがお互いに支え合い障壁のないまち						
目指す姿		害者を取り巻く様々な障壁が無くなり、すべての地域住民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊 し合いながら共生するまちを目指します。						
想定される取組	【各団体への啓蒙法	動】【心のバリアフリー意識の醸成】						
令和2年度 実施予定	民生児童委員協調	体「上牧町身体障害者協議会」「上牧町手をつなぐ育成会」(身体・知的)への助成を行います。 会向けに障がいの合理的配慮に関する勉強会を実施します。 啓発に係る住民向け講座を実施します。(西和7町共同実施)						
	指標①	目標(値)						
独自の指標	指標②	目標(値)						
	指標③	目標(値)						
総合戦略の取組								

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

۷.	夫他桁末	·「DO(実施)」							(単位:千円)
陌	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ 世	考
坦	日/ 平	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1VFI	5
	白.从哈中	ᅔᄸᄙᄼᄰᄡᄼ	50	50	50	50	50		
	才 体障舌	者協議会補助金	50	50	50	50	50		
	チをつか	ぐ育成会補助金	50	50	50	50	50		
	士をつな	、 	50	50	50	50	50		
事業費									
費									
	合	(R02時点)	100	100	100	100	100	5年間累計	500
	<u> </u>	(R03時点)	100	100	100	100	100	5年間累計	500
		実施状況			④計 區	画を変更して実施	した		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	コロナウイルス原			る住民講座の開催 し、啓発ワードを			

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
	指標の説明	334 /L	H27 (2015年)	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	宝缮店	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			1 1 1 1 1 1	大模但	実績値		LAXIV III IVIEZ	

		評価	□ A.目標よりも大きな成果が得ら	られた ■ B.概ね目標の成果が	得られた □ C.	目標とする成果は得られなかった						
		独自の指標①			実績	(値)						
		独自の指標②			実績	(値)						
		独自の指標③			実績	(値)						
			●事業の分析(評価の根拠・理由)									
		〇上牧町身体障害 頭と体の体操、	『者協議会 歩こう会(於;メナード青山リ	ゾート)を実施しました。								
		○上牧町手をつな 知的・発達障が	なぐ育成会 がいをもつ障がい児者の保護者が	「気軽に相談できる「おしゃべり	塾」の開催を支援し、奈	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
		ラバン隊による知	ロ的・発達障がい理解に関するワ 1/29 参加人数31人)	ークショップや当事者同士の話	し合いを行い、福祉課よ	り3人がアドバイザーとして参						
		〇民生児童委員協	7/2)。 R議会の定例会にて聴覚障がい理 R慮に関する講演や、簡単な手話			₹ 他ろう者1人)を実施し、ろ						
		○障害者週間の耳	D組として、上牧町立図書館にて			(ンフレット等の展示を行いま						
			記童やその保護者への就学に関す	る円滑な支援体制の共通理解を	深めるため、障がいを主	管する関係部局として教育委						
達	成度	○啓発ワード「気	§員会に参画しました。 ロればわかる 知れば変わる み	んなが暮らしやすい社会へ」を	盛り込んだマスクを本庁	舎、2000年会館にて配布しま						
		した。(窓口設置	董)									
		●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を 	示すものや内容を補足するもの	があれば貼り付けてくた	さい。						
			【「おしゃべり塾」参加人数】									
			H30	R01	R02							
			23人	22人	31人							
			【民生委員・児童委員向け障が	い福祉に関する勉強会 参加人	数及び内容】							
			R01	R02								
			34人	30人								
			・発達障がいについて	・ろう者の生活について								
			・発達障がいについて・障がい福祉の制度について	・ろう者の生活について・手話について								
		評価			c.	減少する傾向にある						
		評価の根拠及び理	・障がい福祉の制度について ■ A. 増加する傾向にある	・手話について	_							
ニーズ	の方向性	評価の根拠及び理障がい児者数が	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障	ー 害のある人もない人もと	まもに暮らしやすい社会づくり						
ニーズ	の方向性	評価の根拠及び理障がい児者数が	・障がい福祉の制度について ■ A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障	ー 害のある人もない人もと	まもに暮らしやすい社会づくり						
ニーズ	の方向性	評価の根拠及び理障がい児者数が	・障がい福祉の制度について ■ A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障	ー 害のある人もない人もと	まもに暮らしやすい社会づくり						
ニーズ	の方向性	評価の根拠及び理障がい児者数が	・障がい福祉の制度について ■ A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「	・手話について □ B. 現状と変わらない □ E書者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して	ー 害のある人もない人もと 実施していく必要があり	まもに暮らしやすい社会づくり						
ニーズ	の方向性	評価の根拠及び理障がい児者数が条例」に基づき間	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施	・手話について □ B. 現状と変わらない □ E書者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して	ー 害のある人もない人もと 実施していく必要があり	さしでいるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ						
事業の見	記直し余地	評価の根拠及び理 障がい児者数が 条例」に基づき関 評価	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して □ B. 見直す余地がある	書のある人もない人もと 実施していく必要があり	だもに暮らしやすい社会づくります。 見直す余地がほとんどない						
事業の見		評価の根拠及び理 障がい児者数が 条例」に基づき関 評価	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して □ B. 見直す余地がある	書のある人もない人もと 実施していく必要があり	だもに暮らしやすい社会づくります。 見直す余地がほとんどない						
事業の見	記直し余地	評価の根拠及び理 障がい児者数が 条例」に基づき関 評価	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して □ B. 見直す余地がある	書のある人もない人もと 実施していく必要があり	だもに暮らしやすい社会づくります。 見直す余地がほとんどない						
事業の見	記直し余地	評価の根拠及び理 障がい児者数が 条例」に基づき関 評価	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して □ B. 見直す余地がある	書のある人もない人もと 実施していく必要があり	だもに暮らしやすい社会づくります。 見直す余地がほとんどない						
事業の5(改	記直し余地 善点)	評価の根拠及び理 障がい児者数が 条例」に基づき関 評価	・障がい福祉の制度について A. 増加する傾向にある 理由 が増加している現状を踏まえ、「 章がい特性への理解啓発や合理的 A. 見直す余地がありすぐに実施 理由 D増加に伴い、地域住民や町職員	・手話について □ B. 現状と変わらない 障害者差別解消法」「奈良県障配慮促進に係る事業を継続して □ B. 見直す余地がある	書のある人もない人もと 実施していく必要があり	だもに暮らしやすい社会づくります。 見直す余地がほとんどない						

	施策展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	クの配布事	・ まは新型コロ 業となりまし	ー ナウイルス感染拡大队 Jたが、オンラインに	が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	に改善内容を記載してください 「7可協働による住民講座の い理解啓発に資するコロナ ーマを絞った啓発講座を実	実施を見合れ 禍において可		
(改善)	が和3年度 実施予定 内容を踏まえて Cください。)	社会見学 ○上牧町手 おしゃべ ○障がい理 ○町職員向	をつなぐ育成 り塾、県外体 解促進に係る け聴覚障がい	本操、歩こう会の実施	会)の実施(西和 の実施	7町共同実施) 縮小や代替事業による実施	も勘案いたし	<i>,</i> ます。	
			_						
		指標 (予定)	_						
		(3 /2)	_						
			_						

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	50ページ
担当係	障害福祉課	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒慨安 PLAN										
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかで	ときめきがうまれるまちづくり)—					
総合計画上の 位置づけ	基本施筑	策 ⑤ 障害	者【児】福祉							
施策の展開方向 ③ 共生社会の実現のための障害者の自立と社会参加										
	タイト	タイトル 誰もがお互いに支え合い障壁のないまち								
目指す姿		者を取り巻く様々な障壁が無くなり、すべての地域住民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊 合いながら共生するまちを目指します。								
想定される取組	【介護・訓練	介護・訓練等給付・自立支援医療・障害児通所支援・地域生活支援事業等の充実】								
令和2年度 実施予定		創作的な活動や生産 援事業を行います。	活動、社会との交流促進など、	さまざまな活動を支援する場	を提供する施設では	ある地域活動支援セン				
	指標①		地域活動支援センター利用		目標(値)	12人				
独自の指標	指標② 目標(値)									
	指標③				目標(値)					
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

۷.	大心心不	100 (美施)	1120	1120	D01	D02	D02		(単位:十円)
項	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	老
		R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	ИЗ	,
	サーキ:大手・	支援センター運営負担金	1, 675	1,601	1, 418	1,617	1,617		
	地域泊到	又仮セクター連呂貝担並	1, 675	1,601	1, 418	1, 391	1, 747		
事業費									
費									
	合	(R02時点)	1, 675	1,601	1, 418	1,617	1,617	5年間累計	7,928
		(R03時点)	1, 675	1,601	1, 418	1,391	1, 747	5年間累計	7,832
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

UKI 1074/C/JL							
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				大傾但	実績値		

3. 事業の分	か ICHE	:CK (評価)									
		評価		A. 目標よりも	大きな成果が得られた	I	3. 概ね目標の成果だ	が得られた	□ C.目標と	する成果は得られ	いなかった
		独自の指標	1		地域活動支援セ	ンター和	川用登録者		実績(値)	12.	人
		独自の指標	2						実績(値)		
		独自の指標	3						実績(値)		
		●事業の分析	「評価の	根拠・理由)						
		の支援を行い	ます。		障がい者、知的障がい 計12人となりました。	者、精	申障がい者の方1	こ、創作活動又	は生産活動等の根	銭会を提供し、∶	地域生活
達成度	ŧ	・地域活動支 ・地域活動支 上牧町第5	援センタ 援センタ 援センタ 期障がいる	—「まーぶ —「なっつ —「コスモ 畐祉計画の見	る」(斑鳩町) 10 」 (大和高田市) 1 ールいこま」(生駒市 弘込量である9人を上回 できたことが要因であ	i) 1人 lり、目		ました。当事者	やその家族からの	り日中活動の場	に関する
		●事業の分析	f (データ	:表・グラ	フ等)※根拠を示すも	のや内容	容を補足するもの	のがあれば貼り	付けてください。		
				【地域活動	支援センター利用登録	者数】			(単位:人)		
							H30	R01	R02		
				まーぶる((斑鳩町)		10	10	10		
				なっつ(大	和高田市)		0	1	1		
				コスモール	いこま (生駒市)		0	0	1		
					合計		10	11	12		
		評価		A. 増加する傾	 頼向にある	E	3. 現状と変わらない	١		 る傾向にある	
		評価の根拠及	び理由								
ニーズのた	方向性	近年の精神センターのコ			数の増加や、引きこも れます。	り問題を	を勘案すると、🖠	当事者同士で交	流する日中活動の)場として地域	活動支援
		評価 		A. 見直す余地	かありすぐに実施	I	3. 見直す余地がある 	るが時間が必要	□ C. 見直す	余地がほとんどな	/J\$
		評価の根拠及		ひかた	十四시 이 나 씨를	****	ᄾᆇᇷᄼᅲᆞᆖ	in スキッサル・	の口掛かけたかっ	フィル中川もごナーハーナ	± A.44
事業の見直 (改善点			の家族が	もつ細かな	支援センターは、当事 ニーズを汲み取り、解						
4. 今後の方	·向性「A	.CTION (改華	達)」								
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		策展開)まま継続	□ 見直しして継続		一時休止	□ 廃止・中」	上 □ 完	了 (時期:)

	施策展開	■ 現状の	まま継	続 □ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)		支援t	■ 2ンダーの事業所や計画相談 目談支援に関する勉強会等を	員とも共有を図り		通所利用に繋		よう連携強
) (改善内	和3年度 計 記 記 記 で で で で で で で で で で	令和3年	复実施	2ンターの利用支援事業を継する予定である専門相談員(する予定である専門相談員(系る内容を盛り込み意見交換	の人材確保とスキル	レアップを目的とした勉強会	会の中で地域〉	舌動支援†	センターの周
			独自	共	地域活動支援センタ	一利用登録者			13人
			_						
		指標 (予定)	_						
			_						
			-						

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	50ページ
担当係	障害福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

_I. 事業概要 「PLAN	(計画)」									
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり-	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施	b策 ⑤ 障害	者【児】福祉							
	施策の展開方向 ④ 障害者へのよりきめ細やかな対応									
	タイト	タイトル 誰もがお互いに支え合い障壁のないまち								
目指す姿		害者を取り巻く様々な障壁が無くなり、すべての地域住民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊 し合いながら共生するまちを目指します。								
想定される取組	【合理的な配	合理的な配慮の推進・啓蒙】【まほろばあいサポート運動の推奨・推進】								
令和2年度 実施予定	の他の人の意 手話養成講 ります。	手話通訳者派遣(コミュニケーション支援事業)…聴覚、言語、音声機能等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を介するために、手話通訳や要約筆記等を行うものを派遣します。 手話養成講座…上牧町社会福祉協議会に委託します。令和元年度の基礎編講座から引き続き、入門編講座を開講し、新規受講者を募ります。 ・奈良県の主催するまほろばあいサポート運動に係るメッセンジャー研修に参加します。								
	指標①		手話通訳養成講座受講者の人	数	目標(値)	10人				
独自の指標	指標② 目標(値)									
	指標③				目標(値)					
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO(実施)」

(単位:千円)

т西	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	*
坦	日/平反	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1/用	5
		ケーション支援事業委託	1, 179	918	1, 788	1, 272	1, 272		
	料		1, 179	918	1, 116	727	1, 634		
	千千美武:	講座委託料	400	400	400	400	400		
	士 面	两座女配件	400	400	400	400	400		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	1, 579	1,318	2, 188	1, 672	1, 672	5年間累計	8, 429
		(R03時点)	1, 579	1,318	1, 516	1, 127	2, 034	5年間累計	7, 574
		実施状況				通りに実施できな			
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	催されませんでし		影響から奈良県令	和2年度まほろば	あいサポート運動	がに係るメッセン	ジャー研修は開

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

OKI TOTAKING							
ADKE 6	指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年)
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			12112	大順胆	実績値		

暗宝老へ しょうしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	η FI	ユキめタ	ロおっかいさ	4414

21 TACON	171 0112	CIT (PI IM)	-								
		評価	□ A.目標よ	りも大きな成果が	得られた	B. 概ね目	標の成果が得ら	れた	□ C.目標とする	成果は得られなかった	
		独自の指	票①	手話)	通訳養成講座受	講者の人	数		実績(値)	6人	
		独自の指	票②						実績(値)		
		独自の指	票③						実績(値)		
		●事業の分	析(評価の根拠・理	曲)							
		下回りまし 要約筆部 内に要約約 手話を 修 ろ と プ と プ と プ と プ く マ の で の で の で の で の で の り の り り り り り り り	た。 者派遣は、大阪府に 記者を派遣すること 講座については入門 ました。 ーク・ヘルプカード	ある大学のスクが出来ない状況 が出来ない状況編を開講し、新	7ーリング受講 えとなりました f型コロナウイ いましては、障	に伴う申記。 ルスの感ණ 書者週間の	情がありました な状況を踏ま <i>え</i> の期間中に町立	たが、新型コロ たて、定員を10	ナウイルス感染 人に縮小したと	ある月間平均11件を 拡大の影響により府 ころ、計6人が受講し 展示、また福祉課窓	
達成度	Ę	口での見本	の展示、ポスタ <i>ーの</i>	掲示等を行い、	計33人の申請	につながり	りました。				
		●事業の分	析(データ:表・グ	「ラフ等)※根拠	心を示すものや	内容を補足	足するものがあ	5れば貼り付け	てください。		
			【手話通訳者の)派遣回数(回)]		【ヘルプマーク	ク申請者数(人)]		
			Н30	R01	R02		H30	R01	R02		
			141	156	89	1	23	49	33		
			【手話養成講母	至受講者数(人)]				·		
			H30 (入門編)	R01 (基礎編)	R02 (入門編)						
			5	7	6						
				ı	ı	_					
		評価	■ A. 増加す	る傾向にある] B.現状と	変わらない		□ C.減少する低	向にある	
		評価の根拠									
ニーズの方	ī 向性		「まほろばあいサホ							り条例」(平成28年4 す高まっていくと考	
		評価	■ A. 見直す:	余地がありすぐに	実施	B. 見直す	余地があるが時	間が必要	□ C. 見直す余均	めがほとんどない	
		評価の根拠	及び理由								
事業の見直	1,全地		ろう者には筆談や、文字を読むことが困難な方もおられ、高齢化に伴い必要となる福祉サービスの制度や生活全般の相談をより柔軟 対応するための施策の検討が必要です。								
(改善点			(C0)0/100A(0/1001/0	22 (7)							
4. 今後の方	向性「A	CTION (改	善)」								
	施罗	長開 一	□ 現状のまま継続	■ 見直し	して継続 [一時休止		廃止・中止	□ 完了	(時期:)	
			□ 特になし					を記載してくださ			
^{力问性} (改善点		島内容 気に対する 方法等)	会と協働して手話通	訊者窓口設置等	等の事業につい	て検討し		すとのネットワ	一クを構築して	いる町社会福祉協議	
			手話通訳者・要約筆記者派遣事業を継続します。 手話養成講座(基礎編)を開講します。								
			手話通訳者の窓口			ます。					
令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて			※手話養成講座にて ことも検討しながら			イルスの『	感染状況を注視	見するとともに	、定員規模の網	計等の措置を講じる	
記載して	ください	10)									

手話養成講座受講者の人数

独自

_

指標 (予定) 10人

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	50ページ
担当係	障害福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 												
	政策											
総合計画上の 位置づけ	基本施策	⑤ 障害者【	児】福祉									
	施策の展開力	方向 ⑤ 障害者虐	待の防止と障害者の擁護者に対	する支援								
	タイトル	誰もがお互いに	こ支え合い障壁のないまち									
目指す姿		長者を取り巻く様々な障壁が無くなり、すべての地域住民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊 い合いながら共生するまちを目指します。										
想定される取組		合理的な配慮の推進・啓蒙】【相談員専用連絡先◆奈良県障害者相談窓口◆と連携】【施設虐待◆市町村障害者虐待防止センター◆ には◆奈良県障害者権利擁護センター◆等と連携】										
令和2年度 実施予定	な対応に努めま 「令和2年度系	す。 R良県障害者虐待防止 B等支援協議会の専門語	意言者権利擁護支援センターとの ・権利擁護研修」に参加し、さ 部会「人権・施策部会」にて、	らなる虐待事案対応に係るス	(キルアップを図り	ります。						
	指標①				目標(値)							
独自の指標	指標②	指標② 目標(値)										
	指標③				目標(値)							
総合戦略の取組												

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

目/年度	R02時点(中長期) R03時点	H29 H29(決算)	H30 H30 (決算)	R01 R01 (決算)	R02	R03	備	
1/ 牛皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	DO1 (計算)				*
				KUI (次昇)	R02 (決算)	R03 (予算)	VH	5
事 業 集								
슴	(R02時点) 計	0	0	0	0	0	5年間累計	0
	(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0
	実施状況	②計画通りに実施できなかった						
分和2年度 実施結果	(①以外を選択した	害のある人もない	イルス感染拡大の い人もともに暮ら	影響により、西和 しやすい社会づく	7町障害者等支援 り条例」に関する	協議会の専門部会 る講演会は中止し	₹「人権・施策部 ました。	会」による「障
	和2年度	合計 (R03時点) 実施状況 和2年度 説明 に施結果 (①以外を選択した場合、理由や取組内	会計 (R03時点) 実施状況 新型コロナウィ害のある人もない。 説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内	合計 (R03時点) 0 0 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大の書のある人もない人もともに暮られた。 部間 (①以外を選択した場合、理由や取組内	合計 (R03時点) 0 0 0 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、西和書のある人もない人もともに暮らしやすい社会づく場合、理由や取組内	合計 (R03時点) 0 0 0 0 実施状況 (計画通りに実施できな) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、西和7町障害者等支援害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に関する場合である。 実施結果 (①以外を選択した場合、理由や取組内	合計 (R03時点) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	合計 (R03時点) 0 0 0 0 0 5年間累計 実施状況 ②計画通りに実施できなかった 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、西和7町障害者等支援協議会の専門部会「人権・施策部語・ 高のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に関する講演会は中止しました。 まのある人もない人もともに暮らしゃすい社会づくり条例」に関する講演会は中止しました。

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況							
-ADKE 6	指標の説明	 単位	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年)
成果指標名	(算定根拠・方法)		(2015年) 【基準値】	実績値		(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
			1 1 1 1 1	大模地	実績値		25377771137122

暗宝者虐待の	ひとし レクタ	宇老の伝達		マ士坪
哈圭石冷伊())		丰石(/)摊莲	<u></u>	24

3. T.N.	T/I CITE									
		評価	□ A. 目標よりも	大きな成果が得ら	っれた ■ B.	. 概ね目標の成果が	が得られた	□ C.目標とする	成果は得られる	なかった
		独自の指標①						実績(値)		
		独自の指標②						実績(値)		
		独自の指標③						実績(値)		
			評価の根拠・理由)							
			₹良県障害者虐待防 共有を行いました。		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.福祉課職員1名	が参加し、虐待に	こ関する知識や対応	芯手順等の習	得に努
		上牧町が障がいら迅速に対応いる	い者虐待に認定し7 たしました。	き事案は発生い!	たしませんでし	たが、事業所よ	より2件の通報がま	あり、担当市町村 b	ヒ情報共有を	行いなが
		新型コロナウ	イルス感染拡大の しやすい社会づく「				門部会「人権・旅	施策部会」による	「障害のある	人もない
		NUC URT J	O () () () ()		の時次なら、こ	.060/20				
\+1\										
達成度	Ę									
		●事業の分析(*	データ:表・グラ	フ等)※根拠を:	示すものや内容	を補足するもの	Dがあれば貼り付 	けてください。		
			【上牧町障がい	\者虐待認定件数	∀ (件) 】					
			H29	H30	R01	R02				
			1	1	0	0	-			
			「人権・施等部	マングラック マンド マン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	☆加人数(人)	1	1			
			H30	RO1	R02	ĺ				
			40	29	中止					
						ı				
		評価	■ A. 増加する傾	 向にある	B.	現状と変わらない	.1	C.減少する個	 師にある	
		評価の根拠及び	理由							
 ニーズの方	右性		持者の増加や、障が 関係機関とのさらな				こともに、相談や	通報も今後ますま	す増えていく	くことが
_ ,,	TI C-11	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Military	, , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
		評価 		がありすぐに実施	i ■ B.	. 見直す余地がある	らが時間が必要 	□ C. 見直す余地	gがほとんどな! 	۱)
		評価の根拠及び理解がいる。	理由 が周知されるとと ^す	ナ -	'の切談・涌起!	F	アロイニとが予相	トンキオが 独走	*/キャン・	カニタ雑
事業の見直 (改善点			が同知されるととである短期入所等を					.されよりか、7以后	け自て ̄ザロル	別に休設
(3/11/11	()									
4. 今後の方	向性「A	CTION (改 <u>善)</u>	J							
	施卸	策展開 ■	現状のまま継続	□ 見直しして	継続	-時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
			特になし				善内容を記載してく か			
今後の	7L÷		虐待者である障がい に係る協議を進め、						地域生活支援	拠点」の

	施策展開	■ 現状の	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)		- である障が		ための施策として	やに改善内容を記載してください - 西和7町圏域で実施を検診 - 保護事業の整備を進めてい	さん 対している「	地域生活	支援拠点」の
(改善)	が和3年度 実施予定 内容を踏まえて てください。)	奈良県障 人権施策 地域生活 (人権施策	害者相談窓 部会による 支援拠点の 部会や地域	居者虐待防止・権利擁語 口等との連携を継続し 障がい者虐待防止や権 陸が(緊急一時保護事 生活支援拠点に係る協 施します。)	ます。 利擁護に係る協議 業)に係る協議を	を継続します。	況を見ながら	う、オンラ	ラインによる
			-						
			_						
		指標 (予定)	_						
			_						
			_						

担当課	福祉課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	52ページ
担当係	社会福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 		<u>==</u>										
	政策	② 住民社	福祉―ともに支え合い健やかでと	きめきがうまれるまちづくり	_							
総合計画上の 位置づけ	基本施策	6 地域社	福祉									
	施策の展開力	方向 ① 地域 <	ぐるみでのサポート									
	タイトル	人と人が手	を取り合い支え合い安心して暮	らせるまち								
目指す姿		助・共助・公助の理念のもと、地域同士が連携するとともに情報を共有し、協働による取り組みで地域福祉の広がりを持たせ、人と とが手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちを目指します。										
想定される取組	【すこやかサポ 制の構築】	すこやかサポーターの支援】【ボランティア団体との活動の連携】【新規のグループの育成・発掘・支援】【地域での見守り活動体 の構築】										
	ちづくり」を推 また、「地域 動しやすい環境	進します。 域福祉計画」と社会	から令和2年度)において基本理 福祉協議会が策定する「地域福祉 進していくため、住民アンケート を行います。	上活動計画」を一体化させた次	期計画策定を見振	え、住民が地域で活						
	指標①				目標(値)							
独自の指標	指標② 目標(値)											
	指標③				目標(値)							
総合戦略の取組												

2.	実施結果	「DO(実施)」							(単位:千円)
TĒ	[目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	≠
-55	口/千皮	R03時点	H29(決算)	H30(決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	VĦ	ַל ^י
事業費									
費									
	合	(R02時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0
		(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	(①以外を選択した							
		場合、理由や取組内容について記載)						質)、八十烯証時点	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

■KDIの出流

●KPIの状況								
- A DKI T 6	指標の説明	M4.11	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位 (2015年) (基準値)	【基準値】 実績値 目標値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】		
			K = 1 11 12	天禎但	実績値			
小地域ネットワーク活動の	上牧町地域福祉計画	数	11	14	15	17	24	
<u> </u>	工权可犯线阻阻时凹	30	<u>''</u>	14	14		24	
 ボランティア活動支援	 上牧町地域福祉計画		228	361	366	250	270	
ハランティテルコリスが	工队引动温压时间		220	301	358	250	270	

4444	ΛZ	7. 7.	π #	ポ −	L
ודוו נוסע	<	# ("I	,,,,,	//\ —	_

21	CV (BIIM)										
	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね目標(の成果が得られた	E	□ C.目標とす	る成果は得られなかった				
	独自の指標①					実績(値)					
	独自の指標②					実績(値)					
	独自の指標③					実績(値)					
		P価の根拠・理由)									
	により公共施設が 家を拠点として行 施しました。	7ーク活動をしている地域数は、前年度と同 ド利用中止となった期間を除いて、毎月1回 テっているサロン活動や季節ごとのイベント ・ィア連絡協議会加入者数は、令和2年度末	連絡会を開催 トは、感染防止	し情報共有を行 上のため中止と	行いました。 ≤し、見守り?	例年、各地域 活動等の訪問を	ばに公民館や老人憩 <mark>い</mark> の を中心とした活動を実				
達成度	値である270人はた 毎年2000年会館 次期計画策定に 表による「庁内連	値である270人は大きく上回っています。 毎年2000年会館などで開講されている「かんまきタウンカレッジ」は新型コロナウイルス感染防止のため未実施となりました。 次期計画策定に向けて実施した、住民アンケート調査、団体ヒアリング調査、住民座談会の開催、関係各課及び社会福祉協議会の代 表による「庁内連絡会議」の開催により、地域福祉に関するニーズ調査を行いました。その結果をもとに、計4回開催した「上牧町地域 福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会」にて課題の洗い出しや今後の目標、施策の展開について検討しました。									
	●事業の分析(データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。										
		【小地域ネットワークの状況】									
			R01	R02	1						
		小地域ネットワークの組織化(ヶ所)	13	14	14	14					
		(組織化率)	(54%)	(58%)	(58%)	(58%)	1				
		連絡会の開催(回)	12	12	12	10	1				
		住民座談会の開催 (回)	1	2	0	2	1				
	評価	■ A.増加する傾向にある	□ B. 現状と変わる	わらない 		□ C.減少する傾向にある					
	評価の根拠及び理		サ のロミフ目	ロゲエハチ・マナ		···> == == \(\(\text{\ti}\}\\ \text{\texi}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\\ \ti}\\\ \tittt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\te					
ニーズの方向性	望む声が多くあり	Sいて、「近隣住民とのあいさつや声かけ、 Jました。また、少子高齢化や虐待、孤独列 -のつながりや地域住民・行政・社会福祉協	死、生活困窮な	よど地域におけ	する問題も年を	々複合化・複雑					
	評価	□ A. 見直す余地がありすぐに実施	■ B. 見直す余 ¹	地があるが時間だ	が必要		地がほとんどない				
	評価の根拠及び理	曲									
事業の見直し余地 (改善点)		Sいて、「近隣住民とのあいさつや声掛けか す。また、各種団体同士の連携強化を望む います。									

	施策展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善方法等)	づくりを行い ンティア活動 ます。 各種団体の	- ながりの希 います。ま 動に対する の連携強化	薄化への対応として、 た、住民が地域に参議 支援として、2000年会 に向けては、令和3年	地域福祉の意義や 回し福祉活動を行え 会館やコミュニティ 度からの次期計画	に改善内容を記載してください必要性について住民に広くる場として考えられる、リセンター、老人憩の家といて社会福祉協議会の新たなの地域課題について一緒に	(周知を行い、 小地域ネットワインのた活動拠点 ののた活動拠点	フーク活動や 京の整備・提 載する「気!	各種ボラ 供を行い こなる会議
美 (改善内	和3年度	手を取り合し 地域で支 や活動拠点の やすい環境で 「気になりで 小地域ネッ だくよう周外	い、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	い安心して暮らせる。 づくりとして、学校に供により、小地域ネ、 進します。 開催を支援し、住民や ごくりを育むだけで、 活動の普及に向けて、 います。また、社会	まちづくり」を推進 こおける福祉教育や シトワークや上牧町 や福祉関係者、団体 会地区で行われて 番雑協議会と協働し	が地域福祉活動計画」においます。 します。 人権教育を推進します。またがランティア連絡協議会等でなどが課題解決に向けての交流促進を目指します。 いる活動をSNSで紹介し、 、ボランティア活動者の中の活動者に向けた住民座記	また、地域団体 学が、地域の対 で議論する場を 幅広い世代に 中から未設置均	本間の交流促 ボランティア を設けること 活動内容を知	進の支援 活動をし で、地域 知っていた
			KPI		小地域ネット	ワーク数		15박	也域
			KPI	上	枚町ボランティア連	絡協議会会員数		366	5人
		指標 (予定)	-						
			-						
			-						

担当課	福祉課	事業年度 令和2年度		総合計画掲載ページ	52ページ
担当係	社会福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒城安 PLAN											
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―	-								
総合計画上の 位置づけ	基本施策	⑥ 地域福祉									
	施策の展開方向	② 上牧町地域福祉計画の推進									
	タイトル	イトル 人と人が手を取り合い支え合い安心して暮らせるまち									
目指す姿	自助・共助・公助の理念のもと、地域同士が連携するとともに情報を共有し、協働による取り組みで地域福祉の広がりを持たせ、人と 人とが手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちを目指します。										
想定される取組	【上牧町地域福祉計画に基づいた地域福祉の推進】【上牧町地域福祉計画の見直し】										
令和2年度 実施予定	現行の地域福祉計	地域福祉計画及び地域福祉活動計画の一体的な策定に取り組みます。 現行の地域福祉計画の推進に向けて、地域の担い手育成や地域住民の交流促進に向けた活動の支援、また関係機関等の連携を踏まえ た相談支援体制を継続します。									
	指標①		目標(値)								
独自の指標	指標②		目標(値)								
	指標③		目標(値)								
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

۷.	大心心不	「DO(実施)」						(単位:十	<u> </u>
佰	目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	<u>-</u>	RO3時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)		
	ᅪᄊᆉᆉᄀᅙᄼᄔ	1.而华宁市举	0	0	0	4, 410	0	計画策定支援業務委託料	
	型以他(Li	計画策定事業	0	0	0	3, 839	0		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	0	0	0	4, 410	0	5年間累計 4	4, 410
		(R03時点)	0	0	0	3, 839	0	5年間累計	3,839
	実施状況				1	計画通りに実施し	た		
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年) 実績値	R02 (2020年) 目標値	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
					実績値		

上牧町地域福祉計画の推進

3. 事業の分	析「CHE	CK(評価)]									
		評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた ■ B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった								
		独自の指標	0	実績(値)								
		独自の指標	2	実績(値)								
		独自の指標	3	実績(値)								
		●事業の分	前(評価の根拠・理由)									
達成度		委し及月 ① 域祉 に 局 社② 会③ ④ 的け⑤ ⑥ を員たび8地地地包課要、取、上、地子】安子地平なた地民あ民権行会ア生〜域域域括」保実組西牧新域育 心育域成間手域生ら生利いをン活2福のの安 護務内大町間で しての30題法ぐ児ゆ児擁ままり、100円ででは、100円	計である民生児童委員と行政部局がさらなる連携体制を構築するため、民生とンター、教育委員会の職員が、福祉制度や見守りに係る町の事業についての証対策協議会を通じて、要保護児童やその家族支援のあり方について、こども議において、児童相談所や西和警察署、教育委員会等の関係機関との合意形地域の見守り活動を含む「上牧町と日本郵便株式会社 包括的連携に関するまさのは郵便局、西大和片岡台郵便局との間で締結しました。【政策調整課】であることができることを目指し、「上牧町地域見守りネットワーク語、ライフライン会社など町内で活動されている計11団体と締結しました。流機会の充実での交流である「つどいの広場」事業を実施しました。(4月~5月は公共施設証サービスが利用できる仕組みづくりというである。【こども支援課】と、支援体制の充実の機構改革で高齢・障がい・生活困窮・こども担当課及び社会福祉協議会が20時の狭間で困窮している地域住民への支援に関して、適宜各担当課の職員が認定の決定である。「での防犯・防災の推進等の防犯・防災の推進等に関する研修会を実施しました。【福祉課生き活きての防止と権利擁護の推進を受債の活動として、見守り対象者に配布したはがきに特殊詐欺について記載する時の防止と権利擁護の推進を関向けに成年後見制度に関する研修会を実施しました。【福祉課生き活きて援センターななつぼしに委託し、成年後見制度利用促進事業を実施し、後見に関する研修会を実施しました。【福祉課】	をめ、無作為抽出した2,000人の町民を対象としました。加えて、高齢者・障がい者・児童表による「庁内連絡会議」を開催。令和3年2少ました。 児童委員協議会の会議において、福祉課や地説明会を行い、情報共有を図りました。 【福妻とのました。【こども支援課】協定書」を令和3年3月24日に町と香芝郵便に関する協定書」を社会福祉協議会や配送会【福祉課】 の利用中止に伴い未実施)【社会福祉協議の00年会館に集約されたことにより、各課横断集まってチームとなり、情報共有や解決に向き活き対策課 こども支援課】ることで注意喚起を行いました。【福祉課】対策課】 制度に係る相談支援や利用申請手続きの支援								
		●事業の分析(データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。 										
		評価	■ A. 増加する傾向にある □ B. 現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある								
		評価の根拠	なび理由									
ニーズのカ	方向性	少子高齢化や虐待、孤独死、生活困窮等の地域における問題は、年々複合化・複雑化しており、地域住民・行政・専門職が一体となって地域の課題に取り組む礎である地域福祉計画は、地域共生社会の構築のため、強く求められるものであると考えます。										
		評価	□ A. 見直す余地がありすぐに実施 ■ B. 見直す余地があるが時間が必	要 C.見直す余地がほとんどない								
		評価の根拠	なび理由									
事業の見直 (改善点		合化・多様	状の課題が複合化・多様化しており、庁内連絡会議においても、そのような事 とする課題に対しては、複数の担当課で対応することも多く、地域住民や福祉 省や相談窓口の横断的な連携強化が求められます。	例が増えているという意見がありました。複団体、行政、社会福祉協議会といった福祉に								
. 今後の方	点性 FA	CTION (24:	<u> </u>									
1. フ1友の力		CTION (CX 使展開	寄/ 」	·中止 ☐ 完了 (時期:)								
	משט	NIXIπ										
			□ 特になし ■ 改善点あり(下の枠に改善内容を記載	;し(く/:さい。)								

	施策展開	□ 現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	談窓口の連 住民や多	局及び社会福 携強化につい 様な福祉団体	ー 祉協議会の代表が参 いて協議します。	加する「庁内連絡会	改善内容を記載してください 議」を開催し、複合化・ いいて一緒に考える場とな	多様化する地		
令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)		を取り合い り」「だれ 庁内連絡 援体制の充 「気にな	、支え合い安 もが地域に参 会議にて、複 実」を目指し る会議」の開	心して暮らせるまちかできる仕組みづく かできる仕組みづく 合化・多様化する地ます。 関催を支援し、住民や	づくり」を実現させり」「住み慣れた地域課題への対応や相 福祉関係者、専門家	地域福祉活動計画」におい さるため、基本目標に掲げ 対域で安心して暮らせる仕 引談窓口の連携強化につい などが課題解決に向けて う交流促進を目指します。	た「地域で顔 組みづくり」 て協議を行い	の見える関係で を推進します。 へ、「包括的な相	がく
		指標 (予定)	-						
			-						

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	54ページ	
担当係	総合企画係	関連部局	社会教育課・秘書人事課			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

_I. 争耒恢安 PLAN													
	政策	ŧ	② 住民社	冨祉―ともに支え合い健*	やかでとき	きめきがうまれるまちづくり)—						
総合計画上の 位置づけ	基本旅	施策	⑦ 男女丼	共同参画									
	施策の展	開方向	① 男女 共	① 男女共同参画社会の実現									
	タイト	タイトル 男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できるまち											
目指す姿	性別に関わらず、仕事や家庭、地域活動等の様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲 に応じてあらゆる分野で活躍できるまちを目指します。												
想定される取組	【まちづくりへの女性参画体制の構築】 【男女共同参画社会の教育・学習の充実】 【男女共同参画に関する啓発】 【女性の起業の支援】 【就業の場の整備・確保】												
令和2年度 実施予定	女性委員の割合を2021年の目標である35%近くになるように、女性委員の選任を積極的に検討していきます。 また、平成29年度から実施している「上牧町子育てママ就業支援事業」についても、引き続き、民間事業者と連携し、事業拠点の運 営を継続していく予定です。また、経過を観察しながら、住民ニーズを把握し、事業を通じて子育て環境の充実に努めていきます。												
	指標①						目	標(値)					
独自の指標	指標②						目	標(値)					
	指標③	目標(値)											
総合戦略の取組	43. 子育てママ	就業支援事業	Ě										

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

		·DU (夫他 <i>)</i>]							(単位・十円)
晒	 目/年度	R02時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/#	考
坦	日/ 牛皮	R03時点	H29 (決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	WH.	<i>"</i> 5
	フタブ 計	業支援事業	30, 082	0	0	0	0		
	丁月(孙	未又饭争未	30, 082	0	0	0	0		
事業費									
費									
	合	(R02時点) 計	30, 082	0	0	0	0	5年間累計	30, 082
		(R03時点)	30, 082	0	0	0	0	5年間累計	30,082
		実施状況				通りに実施できな			
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	まで臨時休業しま	美支援事業拠点の もした。	運営については、	新型コロナウイル	レス感染拡大によ	り、令和2年4月1	4日から5月31日

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

WKPIの水池							
- ACIVIT 6	指標の説明	N4 / L	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03_	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
				夫領但	実績値		TAXAL TAXILLY
審議会等への女性委員登用	審議会等における女性委員の割	%	32.9	30.5	33.0	35. 0	40.0
<u>率</u>	合	/0	32. 9	30. 3	30. 9	33.0	40.0
上牧町役場における管理的	管理的地位にある職員に占める	%	24.4	20.0	39.0	20.0	22.0
地位にある職員に占める女 性職員の割合	女性職員の割合	%	24. 4	39.0	39.5	28.0	32. 0

m +++	同参画	400	фIВ
手 V 共	旧一多曲4	1 750	丰琛

J. 事未のカか · い	OIL (BIIM)								
	評価	□ A. 目標よりも大きな成果が得られた	■ B. 概ね	目標の成果が	得られた		C.目標とする	る成果は得られ	れなかった
	独自の指標①					実	績(値)		
	独自の指標②					実	績(値)		
	独自の指標③					実	績(値)		
	●事業の分析(語	 平価の根拠・理由)							
	である「上牧町役の女性委員登用 ^図)と・しごと創生総合戦略検証委員会にお g場における管理的地位にある職員に占め 軽」についても、目標値は下回ったものの	る女性職員)、前年度実	の割合」に	ついては前: 結果となり	年度実績、 ました。	目標値を上	一回り、「審	諸会等へ
		ママ就業支援事業については、臨時休業を 対前年比+6名)となっており、目標人数の した。							
達成度									
	●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すも <i>の</i>	や内容を補	足するもの	があれば貼	り付けてく	ださい。		
	【「審議	会等への女性委員登用率」及び「上牧町役	場における	管理的地位(こある職員に	: 占めるが	て性職員の割	合」】	
			H27	H28	H29	H30	R01	R02	
	審議会等	への女性委員登用率(%)	32. 9	25.0	32. 9	33. 3	30.5	30.9	
		場における管理的地位にある職員に占め 員の割合(%)	24. 4	26.6	30.3	39.3	39.0	39.5	
	【参考】 上牧町役	場職員に占める女性職員の割合(%)	42.1	42.4	42. 0	44.1	43.1	43.1	
	評価 	■ A.増加する傾向にある	□ B. 現状る	と変わらない			C.減少する低	顛向にある	
	評価の根拠及び理会を表	<u> </u>	アフ バナナ	立ったマフ	= 1-0-7-1	7 N A A B	TH (- 0 +) +	ジスナのマナ	- () 4702-
ニーズの方向性	すべき課題となっ	±会を実現することは、安心と喜びを持っっている人□減少、少子化対策にも有効で ∈取組に対するニーズは増加してくるもの	あると考え	られ、その					
	評価		■ R 目直:	ナ全地がある	が時間が必要		(目直す全地	也がほとんどフ	+n)
	 評価の根拠及び理		■ 0. 元巨	9 Walth	7.时间7.0万安		C. 光巨 9 示机	531427027	301
		≡四 ≹支援事業については、将来的な展望を見	.すえ、成果	を高めるた	めの見直し	も必要であ	ると考えま	すが、先駆	対のな取組
事業の見直し余地 (改善点)		T究にある程度時間を要すると考えます。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,0		, s = 3, c s	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	in 5 on pulli
(以音派)									

	施策展開	■ 現状の言	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性		は、現在の耳	三実現に向 収組に加え	■ 回けて希望を叶えること に、参画機会の拡大に向 していきたいと考えます	のできるまちとして けた事例の研究や均		削出や社会復帰に		
	令和3年度 実施予定 善内容を踏まえて してください。)	また、「」	上牧町子育	021年の目標である35% 育てママ就業支援事業」 見を観察しながら、住民	についても、引き網	売き、民間事業者と連 打	隽し、事業拠点の	運営を継続し	ていく
			KPI		審議会等への女性を	委員の割合		35.0%	6
			KPI	上牧町役場におけ	る管理的地位にある	職員に占める女性職員	の割合	39.0%	ó
		指標 (予定)	-						
			-						
			-						

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	54ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒城安 PLAN											
	政策	② 住民神	福祉―ともに支え合い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり-	-						
総合計画上の 位置づけ	基本施定	策 ⑦ 男女	⑦ 男女共同参画								
	施策の展開	第方向 ② 男女	共同参画についての理解の促進								
	タイトノ	ル 男性も女性	も意欲に応じてあらゆる分野で活	躍できるまち							
目指す姿		別わらず、仕事や家庭、地域活動等の様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲 であらゆる分野で活躍できるまちを目指します。									
想定される取組	【推進のための	推進のための広報・啓発】【視点に立った教育・学習の推進】【理解の促進】									
令和2年度 実施予定	の掲示や書籍の 成の促進を図る それ以外にも	の展示及び貸出を行 る各種事業について も、ペガサスフェス	て啓発活動を行います。ホームペーい、男女共同参画の理念についてす。 チラシ等で啓発活動を行います。 タ等の町主催の行事でも、他の人材る講師派遣、セミナー等も利用して	里解を深めます。また、奈良! , 権問題と併せてDVDやチラシ等	県で実施される男 で啓発活動を行	女共同参画社会の形					
	指標①				目標(値)						
独自の指標	指標②	旨標② 目標(値)									
	指標③				目標(値)						
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

	大心心心不	·DU(夫 他)」							<u>(単位・十円)</u>
陌	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/	考
坦	日/ 平	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1)H	5
事業									
費									
	合	(R02時点) 計	0	0	0	0	0	5年間累計	0
		(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0
		実施状況				通りに実施できな			
	令和2年度 実施結果		夕での啓発活動と	イルス感染症の影 と、国の女性就業	響により、上牧町 支援全国展開事業	「立図書館での啓教 を利用したセミラ	発活動を例年より ナーを中止しまし	縮小したほか、/ た。	ペガサスフェス
		_					M/ FB00 ()±4	75	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

■KF1074\%							
-10KE 6	指標の説明	334 / 1	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
				大順胆	実績値		

8	3 44 高小	ついて	の理解の	\/ D \#

		評価] A.目標よ	りも大きな成果	見が得られた	■ B. 概ね目標のF	成果が得られた	☐ C.	目標とする	る成果は得られた	よかった
		独自の指	票①						実績	(値)		
		独自の指	票②						実績	(値)		
		独自の指	票3						実績	(値)		
		●事業の分	析(評価の	の根拠・理	里由)							
達成原	÷2	す 規 またした 規 またとし	より、男が 新型コま施し ガサラン 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が	女共同参照 サウまストレー サラン サラン サラン サラン サラン サラン サラン サラン サラン サラン	回の理念につい ス感染症の影響 て、人権啓発 したが、新型 いる、職場での 強化週間に	いて理解を深め 響を受けて、見 コーナーの一角 コロナウイルス のセクハラ、ス ついて広報誌に	のる啓発活動を行う 男女共同参画に関す 身を利用したチラシ R感染症の影響によ ストーカー行為等の こ掲載したほか、国	E牧町立図書館の一角うことができました。ける冊子やパンフレック等での啓発活動と、より中止しました。の女性の人権に関わる国が実施している、性れる中でも、SNS等も活	ト等の配 国の女性 問題全般 暴力に関	記布を取り E就業支援 Bについて 関するSNSA	やめるなど例 全国展開事業 の相談を行う 間談「キュア	削年より 美を利用 う全国— タイム」
		 ●事業の分	析(データ	タ:表・ク	 ブラフ等)※ホ	 根拠を示すも <i>0</i>		 るものがあれば貼り付	けてくた	ごさい。		
		地・市・市・田川田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	法(第202 :30.7%(女性公務員 (部局長 町:14.3% 佐相当職の 町:51.9% 当職の女性	条の3) に 前の状 員の次前を が が して が で が で が で が で に で が で が で が で が で が で	三基づく審議会 0.2%増) (令和2年度) 果長相当職)の 比4.3%増) 区 比13.4%増)	会等におけるが 県内市町村平 の女性比率 県内市町村平 県内市町村平	成又は女性に関す 文性委員の比率(5 均:23.1%(前年度 均:21.4%(前年度 均:35.6%(前年度 均:36.3%(前年度	度比0.1%増) 度比0.1%減) 度比2.1%増)	内閣府男:	女共同参	画局推進課):	から抜粋
		評価		■ A. 増加す	る傾向にある		B.現状と変わり	 らない	C.	減少する個	 頁向にある	
		 評価の根拠	 及び理由									
ニーズのフ	方向性	全体におけ	る男女の地現状や、男	他位の平等 男女共同参	序感」という質 参画社会の形成	質問に対して、	約78%の女性が	ノており、内閣府の世 「男性の方が優遇され 内に実施されているこ	ている」	と考えて	います。	
		評価] A. 見直す	余地がありすぐ	だに実施	■ B. 見直す余地が	があるが時間が必要	☐ C.	見直す余地	也がほとんどない	,١
		評価の根拠	及び理由									
事業の見直 (改善点							状のニーズに沿った 計画する必要があり	に啓発活動を行う必要 Jます。	があり、	実施する	場合も、消養	計中検温
4. 今後の方	向性「A	CTION (改	善)」									
	施第	長開	■ 現状	のまま継続	見直	しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止		□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	(改善	善内容 気に対する 方法等)	啓発方法の	市町村で行 の検討、5	見状のニーズ	ー 啓発活動、行 こ沿った内容の	事等を参考に、必要 D講座やセミナーの	に改善内容を記載してくだ 要に応じて実施場所・ の実施等を行います。 感染症対策をしながら	期間の拡	大、図書	書や冊子の展示	示以外の
(改善)	ma3年度 に に に に に に た い で た さ に た き た き た き た き た き た き た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く た き こ く こ と う こ と た き こ と た き こ と た も こ と こ と も こ と こ と こ と こ と こ と こ と こ と			こも努める	ます。また、含			を行います。また、リ つきましても、消毒 [・]				
				_								
			指標 (予定)	-								
				_								
				-								7

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	54ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 事業概要 □ PLAN											
	政策	2	住民福祉―ともに支	え合い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり	_					
総合計画上の 位置づけ	基本施設	策 ⑦	男女共同参画								
	施策の展開	引方向 ③	家事・子育てや介護	養など責任を分かち 合	合う家庭づくりの推進						
	タイト	ル 男性も	女性も意欲に応じ	てあらゆる分野で活	躍できるまち						
目指す姿	性別に関わらず、仕事や家庭、地域活動等の様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲 に応じてあらゆる分野で活躍できるまちを目指します。										
想定される取組	【固定的な性	【固定的な性別分担意識解消のための啓発・セミナー開催】									
	上牧町立図書館の一角を利用して啓発活動を行います。ホームページ等に掲載し、町民に図書館への来場を呼びかけます。ボスターの掲示や書籍の展示及び貸出を行い、男女共同参画の理念について理解を深めます。また、奈良県で実施される男女共同参画社会の形成の促進を図る各種事業について、チラシ等で啓発活動を行います。 それ以外にも、ベガサスフェスタ等の町主催の行事でも、他の人権問題と併せてDVDやチラシ等で啓発活動を行います。また、国や県の事業で行っている講師派遣、セミナー等も利用して、啓発活動の場を増やしていきます。										
	指標①					目標	票 (値)				
独自の指標	指標②					目標	票 (値)				
	指標③						目標(値)				
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

		<u>'DU (夫他<i>)</i> 」</u>							<u>(単位・十円)</u>		
т舌	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	備	**		
垻	日/ 平	R03時点	H29(決算)	H30(決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	1/1月	5		

事業											
費											
	合	(R02時点) 計	0	0	0	0	0	5年間累計	0		
		(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0		
		実施状況		②計画通りに実施できなかった							
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	夕での啓発活動と	イルス感染症の影 と、国の女性就業	響により、上牧町 支援全国展開事業	立図書館での啓発 を利用したセミュ	∛活動を例年より; ├―を中止しまし;	縮小したほか、^ た。	゚ ガサスフェス		

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

UKI 1074/C/JL								
出田七種々	指標の説明		H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08 (2026年) 【最終目標値】	
成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位		実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
				大傾但	実績値			

3. 事業の分析 い	IE <u>UN (計1四<i>)</i> 」</u>									
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた	B. 概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった						
	独自の指標①			実績(値)						
	独自の指標②			実績(値)						
	 独自の指標③			実績(値)						
		 平価の根拠・理由)								
		週間において、上牧町では6月23日から6月28		を利用して関係ポスターや図書を展示						
		男女共同参画の理念について理解を深める コロナウイルス感染症の影響を受けて、男女		ト等の配布を取りやめるなど、例年よ 						
		て実施しました。 スフェスタにて、人権啓発コーナーの一角を	:利田したチラシ笑での改発活動と国(の大性就業支援全国展開事業を利用し						
	たセミナーを予え	<mark>としていましたが、新型コロナウイルス感染</mark>	k症の影響により中止しました。							
達成度		易が実施している、配偶者やパートナーから ライン」強化週間について広報誌に掲載した								
	てLINEやFaceboo	kにて広報するなど、コロナ禍で啓発活動か	が制限される中でも、SNS等も活用しな	がら啓発活動に努めました。						
	●事業の分析(データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや	P内容を補足するものがあれば貼り付I	ナてください。						
	評価の根拠及び	_	<u></u>							
		評価の依拠及び程由 - 女性の社会進出が進んでいるにも関わらず、内閣府の世論調査(令和元年9月調査)では約40%の男性が「夫は外で働き、妻は家庭を」								
ニーズの方向性	守るべきである」	守るべきである」と考えており、男性が家事をする時間は世界的にもかなり低い水準です。								
―一人の方向注	点でも年間約12	さらに配偶者やパートナーからのDVに関しては、全国の配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は年々増え続けて、令和元年度時点でも年間約12万件(前年度比約5,000件増)を超えており、その上、令和2年度はコロナ禍の影響によるストレス・生活不安から、4~								
		†だけでも相談件数は13万件を超えていると や、男女共同参画社会の形成の促進を図る各		ともあり、男女共同参画社会の形成に						
		高まってきています。								
	評価	□ A.見直す余地がありすぐに実施	■ B.見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地がほとんどない						
	評価の根拠及び理	里由								
声类の日本に合地		との平等が求められていることから、現状の ウイルス感染症対策を行いながら事業を計画		があり、実施する場合も、消毒や検温						
事業の見直し余地 (改善点)	400WI = 2 C)	ントルハ心不正列来と同い。57、フザ来と同国	4 9 00 00 7 00 7 00 9 0							
4 A&A+++	ACTION(改善)									

	施策展開	■ 現状 <i>の</i>	まま継続	売 □ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	啓発方法の	町村で 検討、	ー 行われている啓発活動、行 現状のニーズに沿った内容	- 事等を参考に、必 の講座やセミナー	に改善内容を記載してください。 要に応じて実施場所・期間 の実施等を行います。 感染症対策をしながら行い	間の拡大、図書	や冊子の	展示以外の
- 令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)			も努め	ます。また、令和2年度に「		がを行います。また、県や こつきましても、消毒や検			
			_						
			_						
		指標 (予定)	-						
			_						
		_							

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	54ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

I. 尹未例女 FLAN											
	政策	② 住民	福祉―ともに支え合い健やかでとき	きめきがうまれるまちづくり-	_						
総合計画上の 位置づけ	基本施定	策 ⑦ 男女	共同参画								
	施策の展開	射方向 ④ 誰もな	④ 誰もが参画しやすく安心し暮らせる地域づくりの推進								
	タイトノ	ル 男性も女性	も意欲に応じてあらゆる分野で活	躍できるまち							
目指す姿		・ 性別に関わらず、仕事や家庭、地域活動等の様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲 に応じてあらゆる分野で活躍できるまちを目指します。									
想定される取組	【男女共同参函	男女共同参画計画の策定】									
令和2年度 実施予定	県が作成した男女共同参画策定マニュアルや他の奈良県内の男女共同参画計画をもとに、令和2~3年度にかけて、既に本町で策定している各種計画、施策のデータ等の把握や、計画策定に必要となる情報の収集、分析を行います。 また、県女性センターが主催する研修や、女性の人権に関する人権問題の研修等に業務担当外の職員も参加し、男女共同参画に対する理解を深めます。										
	指標①				目標(値)						
独自の指標	指標②				目標(値)						
	指標③			目標(値)							
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

J	美施結果	IDO(実施)」							(単位:千円)_	
各戶	1/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03		: *	
只 🗆	3/平反	R03時点	H29(決算)	H30(決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	"VH	5	
Ī										
事業費										
Ì										
I										
Ī	_	(R02時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0	
		(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0	
実施状況			②計画通りに実施できなかった							
令和2年度 実施結果		(①以外を選択した	ことができました	−が主催する研修 ∈が、新型コロナ	や女性の人権に関 ウイルス感染症の	する人権問題の4 影響により、多<	研修等に、業務担 くの研修等が中止	当外の職員も数回 となりました。	回の参加をする	
	頁	頁目/年度 合 令和2年度	頁目/年度 R03時点 R03時点) (R02時点) 合計 (R03時点) 実施状況 実施状況 令和2年度 実施結果 説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内	R02時点(中長期) H29 R03時点 H29 (決算) R03時点 H29 (決算) (R02時点)	R02時点(中長期) H29 H30 (決算) R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R03時点	R02時点(中長期) H29 H30 R01 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R01 (決算) R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R02時点 R03時点 R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R03時点 R01 (決算) R04 (決算) R05 (決算) R05 (決算) R07 (決算) R08 (決算) R08 (決算) R08 (決算) R09 (決算) R09 (決算) R01 (決算)	R02時点(中長期) H29 H30 R01 R02 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R02 (決算) R02 (決算) R02 (決算) R03時点 R03時点 R04 (決算) R05 (決算) R	R02時点(中長期) H29	R02時点 (中長期) H29 H30 R01 R02 R03 R03	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況	指標の説明		H27 (2015年)	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】

## が会画し	かせ/中心	苗にサスをた	げづくりの推進

3. 事業の分析 い			
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.概ね目標の成果が得	られた C.目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績(値)
	 独自の指標②		実績(値)
	 独自の指標③		実績(値)
	●事業の分析(記)	平価の根拠・理由)	
達成度	前年度に引き終析をするために対 また、県女性でが、新型コロナワークリンのし、感染紙	たさ、県が作成した男女共同参画策定マニュアルや、他の奈良県が要なデータ、そのデータで判明した課題への対応等の情報を得さンターが主催する研修や、女性の人権に関する人権問題の研修でイルス感染症の影響により、多くの研修等が中止となりました。対策を行いながら実施されたいくつかの研修には参加したほか、よど、コロナ禍で研修等の機会が少なる中でも、職員の男女共同な	ために、各市町村の計画書の精査を行いました。 計に業務担当外の職員も参加する予定をしていました オンラインで開催された女性の人権に関する研修を
	●事業の分析(ラ	ータ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものだ	「あれば貼り付けてください。
	評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある
	評価の根拠及び現	曲	
ニーズの方向性		t会の形成の促進を図る各種行事が全国的に実施されています。. Eとなるよう男女共同参画社会の実現に向け、啓発活動を強化し	
	評価	□ A. 見直す余地がありすぐに実施 ■ B. 見直す余地があるた	時間が必要 🗌 C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び現	曲	
事業の見直し余地 (改善点)	集、分析を行うる 研修等についる	『作成した男女共同参画策定マニュアルや他の奈良県内の男女共ことに加えて、計画策定に必要な審議会等の規則の制定や、計画には、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、担当課全員で続き参加できるよう対応します。	書の作成方法の検討等を行います。
4 全络の士白州			

	施策展開	■ 現状の	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	の規則の制 研修等に	を 度の計画第 定や、計 ついては	ー 定に向けて、計画策定 画書の作成方法の検討等 、新型コロナウイルス感	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改善内容を記載してください 収集、分析を行うことにか ら、担当課全員の意識向 今後は役場職員全体が参	カラック かった かった かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	業務担当者の	かなら
令和3年度		の規則の制 研修等に	定や、計 ついては	画書の作成方法の検討等	を行います。 染症対策を行いなが	収集、分析を行うことに が がら、担当課全員の意識向			
			_						
			_						
		指標 (予定)	_						
			_						
			_	·					

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	56ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

 事 耒恢安 PLAN										
	政策	② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―								
総合計画上の 位置づけ	基本施策	⑧ 人権啓発・平和								
	施策の展開方向	策の展開方向 ① 人権意識の啓発・人権教育								
	タイトル	一人ひとりの人権が尊重され平等で平和を願うまち								
	推もが豊かに生きるために、お互い一人ひとりの人権を尊重し合い、平和への願いを持ち、人と人とのつながりのなかでともに生き、 支え合えるまちを目指します。									
想定される取組	【人権意識啓発の総	【人権意識啓発の継続実施】【社会教育と連携した人権教育の実施】								
令和2年度 実施予定	に関する意識向上、	いる基本的人権の尊重を基本理念とする人づくり、社会づくりを進めるために人権学習等を中心に人権活動、人権 啓発に取り組みます。取組内容として、差別をなくす強調月間(毎年7月)に差別をなくす上牧町民集会を実施し、 識を高めるとともに、あらゆる人権問題への正しい理解と認識を深めるための講演会を行います。								
	指標①	目標(値)								
独自の指標	指標②	目標(値)								
	指標③	目標(値)								
総合戦略の取組										

2. 実施結果「DO (実施)」 (単位:千円)

۷.	美施結果「00(美施)」										
TE	目/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	/ ±±	考		
坦	日/ 平反 	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02(決算)	R03 (予算)	1/18	5		
	羊別なか	くす町民集会	329	330	329	329	329				
	左別では	、9 则 氏未云	329	330	329	109	317				
事業費											
費											
	合	(R02時点) 計	329	330	329	329	329	5年間累計	1, 646		
		(R03時点)	329	330	329	109	317	5年間累計	1, 414		
		実施状況				画を変更して実施					
	令和2年度 実施結果	説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	広報への掲載等、			で、1年間延期す	ることになりまし	ンたが、啓発リー			

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
- A DKI T 6	指標の説明	W / I	H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
				大順胆	実績値			
差別をなくす強調月間・上 牧町民集会の参加者数	参加者数		155	190	200	170	200	

ı	佐辛塾	の政祭。	人権教育	

評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった							
独自の指標①		実績(値)							
独自の指標②		実績(値)							
独自の指標③		実績(値)							
●事業の分析(評価の根拠・理由)									
放送アナウンサー レットを社会教育 メッセージ」募り また、「コロフ	-三代澤康司さんについては、1年先に延期して依頼することにしました。町民賃 賃課の講座等で配布したり、人権教育関係の研修会の紹介を広報で案内したりし 長を町民に広報するなどにも取り組みました。 +差別」の問題について、町ホームページに「新型コロナウイルス感染症に関す	集会に代わる取組として、啓発パンフ ました。奈良県が行っている「人権							
●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。							
評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある							
評価の根拠及び理	曲								
等、法整備が年々 れます。インター	z進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなけれ -ネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区間	ばならない責任が増してきたと考えら 引い合わせ」等に加えて、昨年度からは							
評価	■ A. 見直す余地がありすぐに実施 □ B. 見直す余地があるが時間が必要	□ C.見直す余地がほとんどない							
町民集会につい の方向を検討する くことが必要です	っては、新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、広い会場を確保した 5必要があります。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない場合にあっても t。また、インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動の問題につい	、情勢に応じてできることを探ってい							
	独自の指標② 独自の指標② 独自の指標③ ● 新送ッッま、 のコウセン「にに関するのでは、	独自の指標② 独自の指標② 独自の指標② ●事業の分析 (評価の根拠・理由) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止したために、町民集会としての成果は得られません 放送アナウンサーミ代澤康司さんについては、1年先に延期して依頼することにしました。町民約 レットを社会教育課の講座等で配布したり、人権教育関係の研修会の紹介を広報で案内したりし メッセージ」募集を町民に広報するなどにも取り組みました。 また、「コロナ差別」の問題について、町ホームページに「新型コロナウイルス感染症に関すり、広報に関係したメッセージを載せるなど啓発に取り組みました。 ●事業の分析(データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付 ・事件の根拠及び理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							

	施策展開	□現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	対策を万全l 「差別書。 組を計画し7	ま、2000年会 こ行い計画し き込みに対応	ー 館からペガサスホー ます。 するインターネット います。「同和地区	ルに会場を変更する、 ステーションの取組」	放養内容を記載してください。) 人数制限を設けるなど、新 の見識を深めたり、県の紙 する窓口対応や、差別事象へ	織と連携	したりするな	よどの取
		オから見える 告等、新型 また、啓	る人とのつな コロナウイル 発パンフレッ	がり〜」を開催しま スの感染症予防対策 トの配布や、広報に	す。ペガサスホールを を万全にして実施しま	ッセージ」 募集を町民に募集	限を設け	、検温、座原	常番号報
			KPI	差別をなく	くす強調月間・上牧町	民集会の参加者数		200	
			_						
		指標 (予定)	_						
			_						
			-						

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	56ページ	
担当係	生涯学習推進係	関連部局				

1.	事業概要	ΓPLAN	(計画)	J

	(PI —/ 3										
	政策	策	② 住民社	冨祉─ともに支え合(い健やかでとき	きめきがうまれるまちづく)—				
総合計画上の 位置づけ	基本放	施策	8 人権	啓発・平和							
	施策の展	開方向	方向 ② 鋭い人権感覚の醸成								
	タイト	タイトル 一人ひとりの人権が尊重され平等で平和を願うまち									
目指す姿		誰もが豊かに生きるために、お互い一人ひとりの人権を尊重し合い、平和への願いを持ち、人と人とのつながりのなかでともに生き、 支え合えるまちを目指します。									
想定される取組	【住民の人材	【住民の人権活動の支援】									
∆100/mm	教育を通して 人権啓発標記	て子どもの <i>。</i> 語の提出を依	人権に関す 衣頼し、代	る意識向上を図り、	人権感覚の醸成でいます。 提品	り、社会づくりを進めるた 成に取り組みます。毎年各 出されたポスターはすべて ています。)学校(こ人権啓発ホ	ペスター、各中学校に		
	指標①						目	標(値)			
独自の指標	指標②						目	標(値)			
	指標③							目標(値)			
総合戦略の取組											

		「DO (実施)」							(単位:千円)	
百日	3/年度	RO2時点(中長期)	H29	H30	R01	R02	R03	l l	. *	
欠日	コ/千皮	R03時点	H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	VF.	ל~ו	
事										
長										
Ī	۵	(R02時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0	
		(R03時点)	0	0	0	0	0	5年間累計	0	
		実施状況			@ 計i	画を変更して実施	した			
		説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)	りました。(5月初 た。 こうした状況を	こうした状況を踏まる。今和2年度以降は、次の年度の草集が8日にあるため、冬校人の依頼を8日に行い、年度由に						
			項目/年度 R03時点 R03時点 R03時点 R03時点 R03時点 R03時点) R03時点) R03時点) 保03時点) 実施状況 R03時点 説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内	項目/年度 R03時点 H29 (決算) R03時点 H29 (決算) (R02時点) 0 (R03時点) 0 (R03時点) 0 (R03時点) で りました。(5月花た。 こうした状況を 関紹をしてもらる 理由や取組内 関係してもらる 取組をしてもらる アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	項目/年度 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) (R02時点) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	項目/年度 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) (R02時点) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	項目/年度 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R02 (決算)	項目/年度 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R02 (決算) R03 (予算)	原目/年度 R03時点 H29 (決算) H30 (決算) R01 (決算) R02 (決算) R03 (予算)	

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況							
	指標の説明	334.71	H27 (2015年)	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03_	R08 (2026年)
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】
				入順區	実績値		

鋭い人権感覚の醸成		
	鋭い人権感覚の醸成	

J. 事未 の力切「UIL										
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた □ B.概ね目標の成果が得られた	■ C.目標とする成果は得られなかった							
	独自の指標①		実績(値)							
	独自の指標②		実績(値)							
	独自の指標3		実績(値)							
	●事業の分析(評	平価の根拠・理由)								
	ました。締切を年 また、学校へ <i>0</i> 町内数か所にあ	アー・標語ともに、年度当初の取組ができなかったために、2学期以降に各校で F度末とし、次年度、中央公民館にポスターを掲示、県への代表作品も4月に出 D依頼だけでなく、広報かんまきに掲載し、町民へポスターや標語を募集するが ある町の広告塔(看板)の塗替えに伴って、役場前駐車場の1面にH28年上牧中 言葉ひとつで笑顔咲く」を表示しました。また、昨年提出された上牧小学校6	品することにしました。 など、新しい取組を展開しました。 □学校1年生の水谷奈央子さんの啓発標語							
達成度										
		データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り作	寸けてください。							
	人権啓発ポスター	- 小学4年生141点 県提出2点 6年生161点 県提出2点								
	人権標語	中学1年生190点 県提出6点								
	評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない	□ C.減少する傾向にある							
	評価の根拠及び理由									
ニーズの方向性		tる人権侵害であるいじめや不登校等の問題についても、日々メディアで取り_ 謗中傷等、新しい人権侵害の課題も大きな社会問題となってきていることから								
	評価	■ A.見直す余地がありすぐに実施 □ B.見直す余地があるが時間が必要	□ C. 見直す余地がほとんどない							
	評価の根拠及び理由									
事業の見直し余地 (改善点)	対応の関係で)は するかどうか検記 を仕上げておく <i>0</i>	アー・標語の募集については、奈良県が今年度5月募集 (R2)から4月募集 (R3)ばがりですが、令和4年度募集については、さらに6月募集へと変更される予定すけなければなりません。新型コロナウイルス感染症の影響で休校になったりでが安全です。新年度に取組を始めると、締切に間に合わないことが起こる危ばと思われます。また、学年表示も7月のポスター掲示の時に「現在の学年」表示	です。それに伴って、町での締切も変更 することを考えるならば、前年度に作品 倹があります。作品に取り組む力量は新							

		施策展開	□現状の	まま継続	■ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
今後の 方向性		改善内容 (改善点に対する 改善方法等)		は、奈良県か	_	る8月に合わせて、	に改善内容を記載してくださ 		各校の実情に	合わせ
			央公民館へ 広報かん	のポスター展 まきに掲載し	示(7月実施予定) は	、令和3年3月末に 一や標語を募集す	集を依頼し(令和3年8月) 提出されたポスターを展 るなどの取組を展開しま ます。	示します。		
			指標	-						
			(予定)	_						
				-						

担当課	秘書人事課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	56ページ
担当係	秘書広報係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN(計画)」

_I. 争耒恢安 IPLAN											
	政策	政策 ② 住民福祉―ともに支え合い健やかでときめきがうまれるまちづくり―									
総合計画上の 位置づけ	基本施筑	策 ⑧ 人林	⑧ 人権啓発・平和								
	施策の展開	第方向 ③ 平利	③ 平和に対する意識啓発の推進								
	タイトル	ル 一人ひと	りの人権が尊重され平等で平和を	願うまち							
目指す姿	誰もが豊かに生きるために、お互い一人ひとりの人権を尊重し合い、平和への願いを持ち、人と人とのつながりのなかでともに生き、 支え合えるまちを目指します。										
想定される取組	【平和祈念パ	【平和祈念パネル展等の啓発事業の実施】									
令和2年度 実施予定	戦争の悲惨さを後世へ語り継ぐとともに、命の尊さを訴え、「恒久平和」を願い、平和に対する意識を高める啓発として平和祈念資料展を開催します。令和2年度については、8月1日から15日までの期間、ペガサスホールにおいて、「もう・・・あの悲涙(なみだ)は流すまい 75回目の夏 -ナガサキー」に焦点をあてた資料展を実施します。										
	指標①			目標(値)							
独自の指標	指標②			目標(値)							
	指標③				目標(値)						
総合戦略の取組											

2. 実施結果「DO(実施)」 (単位:千円)

۷.	大心心不	DO (美施)							(単位:十円)
項	項目/年度 R02時点(中長期) - R03時点		H29	H30	R01	R02	R03	備	老
			H29(決算)	H30 (決算)	R01 (決算)	R02 (決算)	R03 (予算)	מוע	.5
	平和パネル展事業		182	206	197	222	194		
			182	206	197	180	184		
事業費									
費									
	(R02時点) 合 計		182	206	197	222	194	5年間累計	1,001
		(R03時点)	182	206	197	180	184	5年間累計	949
		実施状況			1	計画通りに実施し	た		
令和2年度 実施結果		説明 (①以外を選択した 場合、理由や取組内 容について記載)							

※「R02(決算)」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況								
	指標の説明		H27	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03	R08	
成果指標名	(算定根拠・方法)	単位	(2015年) 【基準値】	実績値	目標値	(2021年) 【目標値】	(2026年) 【最終目標値】	
			1 1 1 1 1 1	大模型	実績値		1月次中公口1小門2	
平和祈念資料展の来場者数	来場者数		105	281	280	200	300	
十個別心與科成07不物自然	八·勿日奴		103	201	285	200	300	

च्च≠⊓।-	ナナマ	音識啓発	₩ '#
``` ∧ ₁	אוום כס		(/)****

21	CIV (PI IMI)									
	評価	□ A.目標よりも大きな成果が得られた ■ B.概ね目標の成果が得られた	□ C.目標とする成果は得られなかった							
	独自の指標①		実績(値)							
	独自の指標②		実績(値)							
	独自の指標③		実績(値)							
	●事業の分析(詞	平価の根拠・理由)								
達成度	令和2年度は長崎に焦点をあてた平和祈念資料展を8月1日から15日まで開催し、285人の方に来場いただきました。今回は長崎原爆資料館(長崎市)の協力で原爆投下直後の写真41点を展示しました。また、アンケート調査では「戦争の記憶を引き継いでいくことで戦争の態態さ、平和の尊さを認識できると思います」(40代男性)「戦争は人を傷つける。戦争をしてはいけない。長崎県と広島県のかなしみを忘れません」(12歳男性)「とても胸がしめつけられました。ほんとうにこんな事があったかと思うと信じられない気持ちでなしみを忘れません」(12歳男性)「とても胸がしめつけられました。ほんとうにこんな事があってかと思うと信じられない気持ちです。二度とこんな事があってはいけないです」(60歳女性)等の意見が多数を占め、平和への意識が高まったと認識しており、意識啓発として目標の成果が得られたと考えます。									
	●事業の分析(ラ	データ:表・グラフ等)※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付	けてください。							
		【平和祈念資料展来場者数(人)】								
		281 285								
		180								
		150								
		H28 H29 H30 R01 R02								
	評価	■ A.増加する傾向にある □ B.現状と変わらない								
	評価の根拠及び理									
	北朝鮮による村 と考えます。	亥実験の実施や中国による尖閣諸島領海侵入により、日本国家の安全や平和が脅	かされつつあり、関心も高まっている							
ニーズの方向性	と考えより。									
	評価	□ A. 見直す余地がありすぐに実施 ■ B. 見直す余地があるが時間が必要								
事業の見直し余地 (改善点)	評価の根拠及び理									
	増やす工夫が必要	こついては見直しの余地はないと考えますが、毎年資料展に来場されるのはリピ 要であると考えます。積極的なプレスリリースを含め、周知方法や運営、プログ しながら改善を図ります。								

	施策展開	■ 現状の	まま継続	□ 見直しして継続	□ 一時休止	□ 廃止・中止	□ 完了	(時期:)
		□ 特にな	U		改善点あり(下の枠	に改善内容を記載してください	ν _°)		
今後の 方向性	改善内容 (改善点に対する 改善方法等)	ことで、ひ	いてはタ	を繰り返さないための啓発 犯罪や非行、いじめ等の防 数を増やすための方策につ	止にもつながると	考えますので、今後も継続			
- 令和3年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)		します。開	催に際し	続き、8月にペガサスホー しては、新型コロナウイル どの対策を講じた上で開催	ス感染拡大防止の	観点から、入場者の手指消	肖毒の徹底、検	温、場合によ	
			KPI		平和祈念資料展の	の来場者数		280人	
			-						
		指標 (予定)	-						
			_						
			_						